



---

## はじめに

このたびは、AQ6370 Viewer をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
このユーザーズマニュアルは、本ソフトウェアの取り扱い上の注意 / 機能 / 操作方法などについて説明したものです。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保存してください。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきっとお役に立ちます。

このマニュアルの他に、AQ6370 Viewer インストールマニュアル (IM 735371-02) があります。インストール方法、起動方法について説明しています。

なお、光スペクトラムアナライザ (AQ6370 シリーズ) 本体の取り扱い上の注意 / 機能 / 操作方法、Windows の取り扱い / 操作方法などについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

## ご注意

- ・ 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、予告なしに変更することがあります。最新のマニュアルは、当社 Web サイトにてご確認ください。
- ・ 実際の画面表示内容が本書に記載の画面表示内容と多少異なることがあります。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

## 商標

- ・ Microsoft、Windows、Windows 10、および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe および Acrobat は、アドビシステムズ社の登録商標または商標です。
- ・ 本文中の各社の登録商標または商標には、®、TM マークは表示していません。
- ・ その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 履歴

- ・ 2006 年 8 月 初版発行
- ・ 2008 年 5 月 2 版発行
- ・ 2008 年 10 月 3 版発行
- ・ 2010 年 2 月 4 版発行
- ・ 2010 年 10 月 5 版発行
- ・ 2014 年 5 月 6 版発行
- ・ 2015 年 3 月 7 版発行
- ・ 2016 年 3 月 8 版発行
- ・ 2017 年 3 月 9 版発行
- ・ 2018 年 5 月 10 版発行
- ・ 2020 年 8 月 11 版発行
- ・ 2021 年 11 月 12 版発行
- ・ 2022 年 11 月 13 版発行
- ・ 2023 年 8 月 14 版発行
- ・ 2023 年 11 月 15 版発行
- ・ 2024 年 6 月 16 版発行

# ソフトウェア使用許諾契約書

## ソフトウェア使用許諾契約書

お客様が本ソフトウェア使用許諾契約書（以下、「本契約」といいます）に合意することを条件として、横河電機株式会社および横河計測株式会社（以下、「当社」といいます）は、当該されたソフトウェア製品（以下、「横河ソフトウェア」といいます）の使用権をお客様に許諾します。なお、当社は、横河ソフトウェアの使用権をお客様に許諾するものであり、横河ソフトウェアを販売するものではありません。

製品：AQ6370 Viewer

クライアント・ライセンス数：1

### 第1条（適用範囲）

- 本契約は、当社がお客様に提供する横河ソフトウェア製品に適用するものとします。
- 横河ソフトウェアは、それに含まれる一切の技術、アルゴリズム、およびプロセスを包含するものとします。

### 第2条（使用権の許諾）

- お客様は、横河ソフトウェアについて、別途合意した使用料を対価として、前文に定めるクライアント・ライセンス数に対応する台数のコンピュータに限り使用できるものとし、当社は、お客様の自己使用を目的とした、非独占かつ譲渡不能の使用権（以下「使用権」といいます）を許諾します。仮想化された環境においては、クライアント・ライセンス数に対応する台数のクライアント・コンピュータ（物理的コンピュータであるか仮想コンピュータであるかにかかわらず）に限り使用権を許諾します。
- お客様は、当社の事前の書面による承諾なしに、横河ソフトウェアを第三者に頒布、転貸、複製、譲渡、質入、伝送もしくは再使用権を許諾しないものとします。
- お客様は、バックアップ目的として一組のみ横河ソフトウェアを複製する以外は、横河ソフトウェアの全部または一部を複製しないものとします。また当該複製物の保管および管理については厳重な注意を払うものとします。
- お客様は、いかなる理由においても横河ソフトウェアをダンプ、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどによるソースプログラムその他人間が読み取り可能な形式への変換もしくは複製または横河ソフトウェアの修正もしくは他の言語への翻訳など、提供された形式以外に改変しないものとします。また、当社は、別に同意しない限り、お客様にソースプログラムを提供しないものとします。
- 横河ソフトウェアおよびそれらに含まれる一切の技術、アルゴリズム、およびプロセスなどのノウハウは、当社または当社に対し再使用許諾を含む使用許諾権を付与している第三者の固有財産であり、当社または当社に対し再使用許諾権を付与している第三者が権利を有しているものであり、お客様に権利の移転や譲渡を一切行うものではありません。
- 当社は、横河ソフトウェアに保護の機構（コピープロテクト）を使用または付加することがあります。当該コピープロテクトを除去したり、除去を試みることは認められないものとします。
- 横河ソフトウェアには、当社が第三者から再使用許諾を含む使用許諾権を付与されているソフトウェアプログラム（以下「第三者プログラム」といい、当社の関連会社が独自に製作・販売しているソフトウェアプログラムもこれに含ます）を含む場合があります。かかる第三者プログラムに関し、当社が当該第三者より本契約と異なる再使用許諾条件を受け入れている場合には、別途書面により通知される当該条件を遵守していただきます。
- 横河ソフトウェア製品には、オープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）を含む場合があります。OSSについては、別途提示される条件が本条件に優先して適用されます。

### 第3条（特定用途に関する制限）

- 横河ソフトウェアは、下記の各号を目的として、製作または頒布されるものではありません。
- (a) 航空機の運行または船舶の航行や、これらを地上でサポートする機器の立案、設計、開発、保守、運用および使用されること。(b) 原子力施設の立案、設計、開発、建設、保守、運用および使用されること。(c) 核兵器、化学兵器または生物兵器の立案、設計、開発、保守、運用および使用されること。(d) 医療機器などの人 身に直接関わるような状況下で使用されることを目的に立案、設計、開発、保守、運用および使用されること。
- お客様が前項の目的で横河ソフトウェアを使用する場合には、当社は当該使用により発生するいかなる請求および損害に対しても責任を負わないものとし、お客様は、お客様の責任においてこれを解決するものとし、当社を免責するものとします。

### 第4条（保証）

- 横河ソフトウェアは、当該製品完成時または出荷時の現状のままでお客様に提供されるものとし、お客様は、これに合意するものとします。横河ソフトウェアの記録媒体に破損、損傷が発見された場合は、開封後 7 日間に限り無償で交換をいたします（お客様の費用で当社の指定するサービス拠点に当該ソフトウェア製品の記憶媒体を送付していただくものとします）が、いかなる場合であっても横河ソフトウェアに瑕疵のないこと、的確性、正確性、信頼性もしくは最新性などの品質上または性能上の明示または黙示の保証をするものではありません。また、横河ソフトウェアが他のソフトウェアとの間で不整合、相互干渉などの影響のないことを保証するものでもありません。
- 前項の規定に関わらず、横河ソフトウェアに第三者プログラムが存在する場合の保証期間、保証条件については、かかるプログラムの供給者の定めるところによるものとします。
- 当社は、自己の判断により必要と認めた場合、横河ソフトウェアに関するレビジョンアップおよびバージョンアップ（以下、アップデートサービスといいます）を実施することがあります。
- 前項の定めにも拘らず、当社は、いかなる場合であってもお客様により改変または修正された横河ソフトウェアに関するアップデートサービスについては、第三者により改変・修正された場合を含め、一切対応しないものとします。

### 第5条（特許権、著作権の侵害に関する損害賠償責任）

- お客様は、横河ソフトウェアについて、第三者から特許権、商標権、著作権その他の権利に基づき使用の差し止め、損害賠償請求などが行われた場合は、書面に速やかに請求の内容を当社に通知するものとします。
- 前項の請求などが当社の責に帰すべき事由による場合は、その防御および和解交渉について、お客様から当社に防御、交渉に必要なすべての権限を与えていただき、かつ必要な情報および援助をいただくことを条件に、当社は自己の費用負担で当該請求などの防御および交渉を行い、前項記載の第三者に対して最終的に認められた責任を負うものとします。
- 当社は第1項における請求またはその恐れがあると判断した場合は、当社の選択により、当社の費用で下記のいずれかの処置を取るものとします。
  - 正当な権利を有する者からかかる横河ソフトウェアの使用を継続する権利を取得する。
  - 第三者の権利の侵害を回避できるようなソフトウェア製品と交換する。
  - 第三者の権利を侵害しないようにかかる横河ソフトウェアを改造する。
- 前項各号の処置がとれない場合、当社は、お客様から当社にお支払い頂いた第2条第1項に定める使用料の対価を限度として損害を賠償するものとします。
- 本条にかかわらず、第三者プログラムまたはOSSに起因する請求等については別途提示される条件が優先します。

### 第6条（責任の制限）

本契約に基づいて当社がお客様に提供した横河ソフトウェアによって、当社の責に帰すべき事由によりお客様が損害を被った場合は、当社は、本契約の規定に従って対応するものとなりますが、いかなる場合においても、派生損害、結果損害、その他の間接損害（営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の喪失などによる損害その他）については一切責任を負わないものとし、かつ当社の損害賠償責任は、かかる横河ソフトウェアについてお客様からお支払いを受けた第2条第1項に定める使用料の対価を限度とします。なお、当社が納入した製品をお客様が当社の書面による事前の承諾なく改造、改変、他のソフトウェアとの結合を行い、またはその他基本仕様書または機能仕様書との相違を生ぜしめた場合は、当社は一部または全ての責任を免れることができるものとします。

### 第7条（輸出規制）

お客様は、事前に当社の同意を得た場合を除き、横河ソフトウェアを、直接、間接を問わず輸出または他国に伝送しないものとします。

### 第8条（本契約の期間）

本契約は、お客様が横河ソフトウェアを受領した日から、契約解除されない限り、お客様または当社が相手方に対し、1ヶ月前に書面による通知によって当該ソフトウェア製品の使用を終了させるまで、またはお客様の横河ソフトウェアの使用終了時まで、有効とします。

### 第9条（使用の差し止め）

横河ソフトウェアの使用許諾後といえども、使用環境の変化または許諾時には見出せなかった不適切な環境条件が見られる場合、その他横河ソフトウェアを使用するに著しく不適切であると当社が判断した場合には、当社はお客様に対して当該使用を差し止めることができるものとします。

### 第10条（解除）

当社は、お客様が本契約に違反した場合には、何ら催告を要することなく通知をもって本契約を解除できます。ただし、本契約終了または解除後といえども第5条、第6条ならびに第11条は効力を有するものとします。

### 第11条（管轄裁判所）

本契約に関して生じた紛争、疑義については、両者誠意を持って協議解決するものとします。ただし、一方当事者が他方当事者に協議解決をしたい旨の通知後 90 日以内に両当事者間で協議が整わない場合は東京地方裁判所（本庁）を第一審の専属的管轄裁判所とします。

### 第12条（契約の変更）

当社は、本契約の内容、本製品の内容、横河ソフトウェアの仕様、関連契約に基づくサポートその他関連するサービスの内容を当社独自の判断において変更できるものとします。

以上

## 梱包内容の確認

梱包箱を開けたら、ご使用前に以下の品が揃っていることを確認してください。万一、お届けした品の間違いや品不足、または外観に異常が認められる場合は、お買い求め先にご連絡ください。

### ● AQ6370 Viewer インストールマニュアル (IM 735371-02)

#### ● CD-ROM

以下のものが収納されています。

- ・ AQ6360 用 Viewer (CD-ROM が Edition 14 以降のとき収納)
- ・ AQ6370 用 Viewer
- ・ AQ6370B 用 Viewer (CD-ROM が Edition 5 以降のとき収納)
- ・ AQ6370C 用 Viewer (CD-ROM が Edition 7 以降のとき収納)
- ・ AQ6370D 用 Viewer (CD-ROM が Edition 9 以降のとき収納)
- ・ AQ6373 用 Viewer (CD-ROM が Edition 6 以降のとき収納)
- ・ AQ6373B 用 Viewer (CD-ROM が Edition 10 以降のとき収納)
- ・ AQ6374 用 Viewer (CD-ROM が Edition 13 以降のとき収納)
- ・ AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer (CD-ROM が Edition 12 以降のとき収納)
- ・ AQ6377 用 Viewer (CD-ROM が Edition 18 以降のとき収納)
- ・ OSA Viewer (CD-ROM が Edition 14 以降のとき収納)
- ・ AQ6370 本体ファームウェア用アップデーター  
AQ6370 本体のファームウェアバージョンが「R02.01」より古いときに使用します。
- ・ AQ6380 本体ファームウェア用アップデーター  
AQ6380 本体のファームウェアバージョンが「R01.01」より古いときに使用します。
- ・ AQ6370 Viewer ユーザーズマニュアル (本書)

#### ● ライセンスシール 1 枚

本ソフトウェアの起動時に、このライセンスシールに記載のライセンスコードを入力する必要があります。詳細は、「2.1 ソフトウェアの起動と終了」をご覧ください。

# 動作に必要なシステム環境とご使用にあたっての注意

## 動作に必要なシステム環境

### ● PC 本体

以下のオペレーティングシステムが問題なく動作する、メモリ環境を有するものがが必要です。

### ● OS( オペレーティングシステム )

- ・ Windows 10 (32bit/64bit)
- ・ Windows 11 (64bit)

### ● CD-ROM ドライブ

本ソフトウェアをインストールするときに使用する CD-ROM ドライブが必要です。

### ● イーサネットインタフェース

リモートコントロールモードまたはファイル転送モードで使用するときは、LAN ポート (100BASE-TX) が必要です。

### ● ディスプレイ、マウス、プリンタ

- ・ ディスプレイ：1024 × 768 ピクセル、65536 色以上
- ・ マウス、プリンタ：上記 OS に対応したもの ( プリンタは画面のハードコピー出力時に必要 )

## ご使用にあたっての注意

### ● CD-ROM の保管について

お買い上げいただいたオリジナルの CD-ROM( 本ソフトウェア ) は大切に保管してください。実際の作業では、ハードディスク上にインストールしてご使用ください。

### ● ソフトウェアの使用上の注意事項

- ・ 本ソフトウェアで光スペクトラムアナライザ本体 (AQ6370 シリーズ) をリモートコントロールしているときは、光スペクトラムアナライザ本体での操作はしないでください。誤動作の原因になります。
- ・ 本ソフトウェアでコントロールできる光スペクトラムアナライザは、1 台だけです。また、複数の PC から同じ光スペクトラムアナライザに対して、同時接続はできません。
- ・ 本ソフトウェアで AQ6360/AQ6370/AQ6370B/AQ6370C/AQ6370D/AQ6370E/AQ6373/AQ6373B/AQ6373E/AQ6374/AQ6374E/AQ6375/AQ6375B/AQ6375E/AQ6376/AQ6376E/AQ6377/AQ6380 以外の波形ファイルを読み込むときは、解析機能の結果などに制限があります。詳細は 1-5 ページをご覧ください。

# ソフトウェアのインストール / アンインストール

## 操 作

### ソフトウェアのインストール

CD-ROM 内には光スペクトラムアナライザの機種に対応した Viewer がそれぞれ入っています。

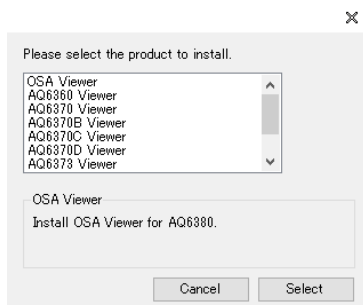
自動的に起動されるインストールツールから、インストールする Viewer を選択してください。インストールツールが自動的に起動されない場合は、CD 内の Autorun.exe を起動してください。

- AQ6360 用 Viewer をインストールする場合： AQ6360Viewer
  - AQ6370 用 Viewer をインストールする場合： AQ6370Viewer
  - AQ6370B 用 Viewer をインストールする場合： AQ6370BViewer
  - AQ6370C 用 Viewer をインストールする場合： AQ6370CViewer
  - AQ6370D 用 Viewer をインストールする場合： AQ6370DViewer
  - AQ6373 用 Viewer をインストールする場合： AQ6373Viewer
  - AQ6373B 用 Viewer をインストールする場合： AQ6373BViewer
  - AQ6374 用 Viewer をインストールする場合： AQ6374Viewer
  - AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer をインストールする場合：  
AQ6375&76Viewer
  - AQ6377 用 Viewer をインストールする場合： AQ6377Viewer
  - OSA Viewer をインストールする場合： OSA Viewer
- AQ6380/AQ6370E/AQ6373E/AQ6374E/AQ6375E/AQ6376E 用の Viewer ソフトウェアをご利用いただく場合は、OSA Viewer をインストールしてください。OSA Viewer の起動メニューから AQ6380/AQ6370E/AQ6373E/AQ6374E/AQ6375E/AQ6376E 用の Viewer ソフトウェアを起動することができます。

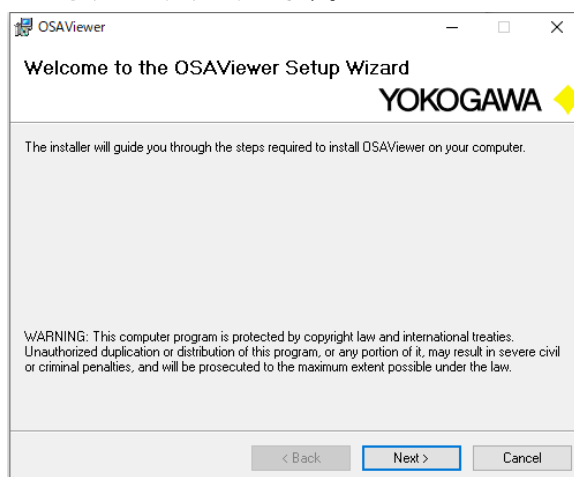
以下は、Windows 10 でインストールするときの操作です。

OSA Viewer を例に説明します。そのほかの Viewer の場合は、文中の「OSA」を「AQ6360」/「AQ6370」/「AQ6370B」/「AQ6370C」/「AQ6370D」/「AQ6373」/「AQ6373B」/「AQ6374」/「AQ6375/AQ6375B/AQ6376」/「AQ6377」に読み替えてください。

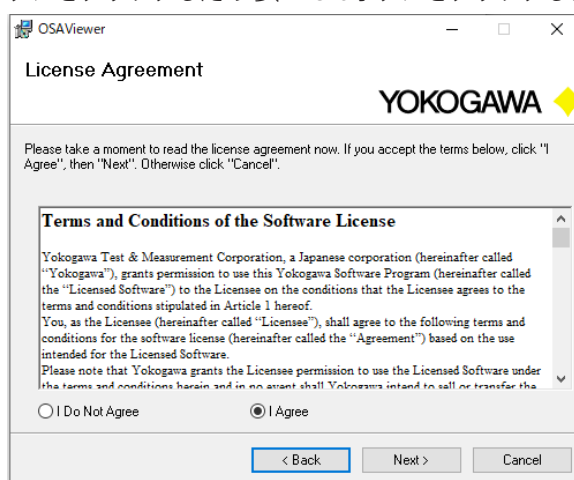
1. PC 本体の電源を入れ、Windows を立ち上げた状態にします。すでに OSA Viewer がインストールされている場合は、アンインストールしてください。
2. AQ6370 Viewer のディスクを CD-ROM ドライブにセットします。  
インストールツールが自動的に起動されます。
3. OSA Viewer を選択し、**Select** ボタンをクリックします。インストールが開始されます。



4. **Next** ボタンをクリックします。



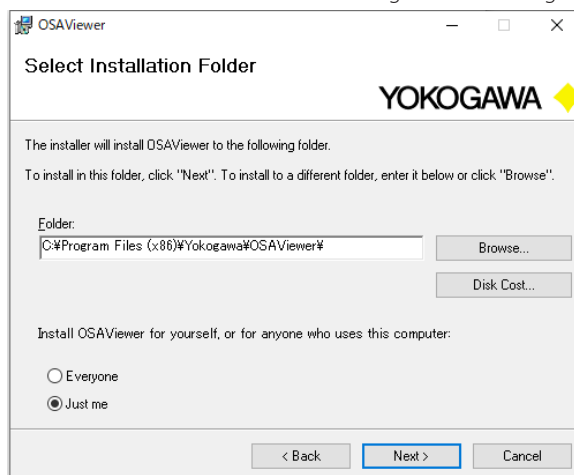
5. 使用許諾契約をよくお読みいただき、同意されるときは、**I Agree** オプションボタンをクリックしたのち、**Next** ボタンをクリックします。



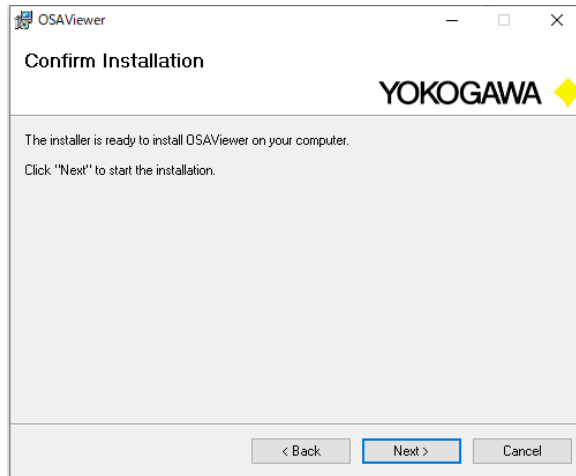
6. インストール先のフォルダ選択画面でドライブ / フォルダを選択し、**Next** ボタンをクリックします。

下図のようなインストール先設定画面が表示されます。

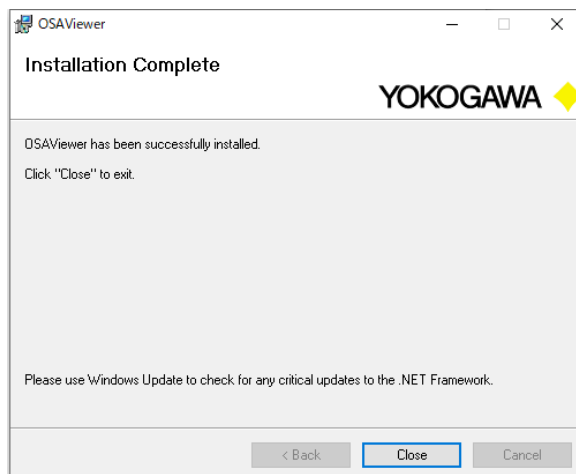
インストール先のデフォルトは「C:\Program Files\Yokogawa\」です。



7. インストール先確認確認画面で、**Next** ボタンをクリックします。  
ソフトウェアのインストールが実行されます。インストール中は、画面にプログレス（進行状況）バーが表示されます。



8. **Close** ボタンをクリックして、インストールを終了します。  
Windows のスタート>プログラムに Yokogawa > OSA Viewer が追加されるとともに、デスクトップ上に「OSA Viewer」ショートカットアイコンが作成されます。



### Note

- 初めて AQ6370 用 Viewer を起動すると、ライセンス確認画面が表示されます。ライセンス確認画面で Input License code ボタンをクリックして表示される画面で、付属のライセンスシートに記載のライセンスコードを入力するとメインの操作画面が表示されます。詳細は、「2.1 ソフトウェアの起動と終了」をご覧ください。
- AQ6360 用 Viewer は CD-ROM の Edition 14 以降に収納されています。
- AQ6370B 用 Viewer は CD-ROM の Edition 5 以降に収納されています。
- AQ6370C 用 Viewer は CD-ROM の Edition 7 以降に収納されています。
- AQ6370D 用 Viewer は CD-ROM の Edition 9 以降に収納されています。
- AQ6373 用 Viewer は CD-ROM の Edition 6 以降に収納されています。
- AQ6373B 用 Viewer は CD-ROM の Edition 10 以降に収納されています。
- AQ6374 用 Viewer は CD-ROM の Edition 13 以降に収納されています。
- AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer は CD-ROM の Edition 12 以降に収納されています。
- AQ6377 用 Viewer は CD-ROM の Edition 18 以降に収納されています。
- OSA Viewer は CD-ROM の Edition 14 以降に収納されています。
- 同じ PC に複数の異なる Viewer をインストールできます。



### ソフトウェアのアンインストール

以下は、Windows 10 でアンインストールするときの操作です。

1. Windows のスタートメニューからコントロールパネルを選択します。
2. コントロールパネル画面から**プログラムと機能**をクリックします。
3. プログラムと機能画面で **OSA Viewer** を選択して、**アンインストール**をクリックします。  
プログラムの削除を確認する画面が表示されます。
4. **はい**をクリックします。  
ソフトウェアのアンインストールが実行されます。

### **Note**

ソフトウェアをアンインストールした場合でも、ユーザーが保存したファイル（波形ファイルなど）は削除されずに下記のフォルダに残ります。

マイドキュメント ¥AQ6370Viewer Data

---

# 目次

	ソフトウェア使用許諾契約書.....	ii
	梱包内容の確認.....	iii
	動作に必要なシステム環境とご使用にあたっての注意.....	iv
	ソフトウェアのインストール / アンインストール.....	v
<b>第 1 章</b>	<b>機能概要</b>	
	1.1 動作モード.....	1-1
	1.2 動作モードによる機能の違いと読み込み可能ファイル.....	1-5
	1.3 表示画面の各部の機能.....	1-10
<b>第 2 章</b>	<b>基本的な操作</b>	
	2.1 ソフトウェアの起動と終了.....	2-1
	2.2 マウスまたはキー操作による基本操作.....	2-3
	2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定.....	2-7
<b>第 3 章</b>	<b>Viewer モード / リモートコントロールモードでの共通操作 (機種別ソフトウェア)</b>	
	3.1 メインメニュー.....	3-1
	3.2 画面のハードコピー.....	3-4
	3.3 ユーザーフォルダの設定.....	3-5
<b>第 4 章</b>	<b>Viewer モードでの操作 (機種別ソフトウェア)</b>	
	4.1 波形データの読み込み / 波形表示操作.....	4-1
	4.2 設定データの保存操作.....	4-4
	4.3 Viewer モードでのソフトキーメニュー.....	4-8
	4.4 プログラム機能で動作しないコマンド.....	4-9
<b>第 5 章</b>	<b>リモートコントロールモードでの操作 (機種別ソフトウェア)</b>	
	5.1 接続 / 切断操作.....	5-1
	5.2 リモートコントロールモードでの操作時の注意.....	5-3
	5.3 リモートコントロールモードでのソフトキーメニュー.....	5-4
<b>第 6 章</b>	<b>ファイル転送</b>	
	6.1 ファイル転送操作.....	6-1
<b>第 7 章</b>	<b>機種共通ソフトウェアの操作</b>	
	7.1 機種共通ソフトウェアの起動.....	7-1
	7.2 Viewer ソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア).....	7-2
	7.3 リモートコントロールソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア).....	7-4
	7.4 リモートモニターソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア).....	7-7
<b>第 8 章</b>	<b>トラブルシューティング</b>	
	8.1 故障? ちょっと調べてみてください.....	8-1
	8.2 メッセージとその対処方法.....	8-3

## 索引

## 1.1 動作モード

### 機種別のソフトウェアと機種共通のソフトウェア

本ソフトウェアには、

- ・ 機種別のソフトウェア
- ・ 機種共通で使えるソフトウェア (OSA Viewer)

の 2 種類のソフトウェアがあります。

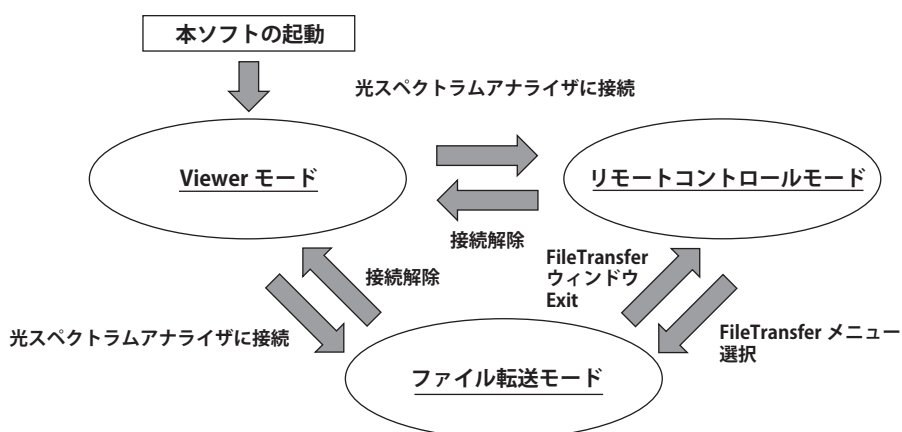
### 機種別のソフトウェア

機種別のソフトウェアには、以下の 3 つの動作モードがあります。

それぞれの関係を AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

起動時は、Viewer モードになります。

光スペクトラムアナライザ (AQ6370 シリーズ) 本体への接続操作を行うと、リモートコントロールモードに切り替わります。メインメニューで「FileTransfer」を選択すると、ファイル転送モードになります。

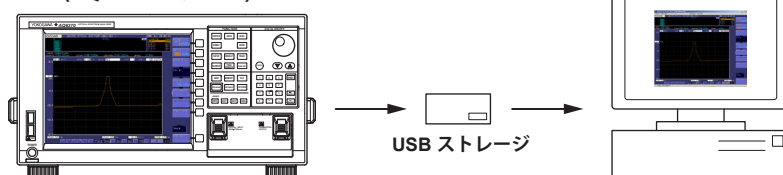


### Viewer モード

光スペクトラムアナライザ本体の画面と同じ画面が PC 画面に表示されます。マウスやキーボードを使って、光スペクトラムアナライザ本体と同様の操作方法で、表示画面を操作できます。この Viewer モードでは、次のような操作が可能です。

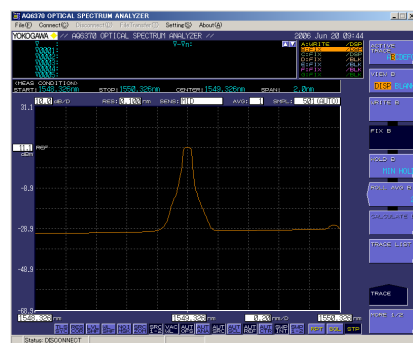
- ・ 光スペクトラムアナライザ本体で USB ストレージに保存した波形データを読み込んで画面に表示できます。AQ6360/AQ6370/AQ6370B/AQ6370C/AQ6370D/AQ6373/AQ6373B/AQ6374/AQ6375/AQ6375B/AQ6376/AQ6377 以外に、AQ6317 または AQ6319 で保存した波形データも読み込めます。
- ・ 表示された波形に対してマーカ操作や解析機能を実行し、その結果を表示できます。
- ・ プログラムやテンプレートデータの作成や編集ができます。
- ・ 作成したデータをファイルに保存できます。

光スペクトラムアナライザ  
(AQ6370 シリーズ)



## 1.1 動作モード

### 画面表示例

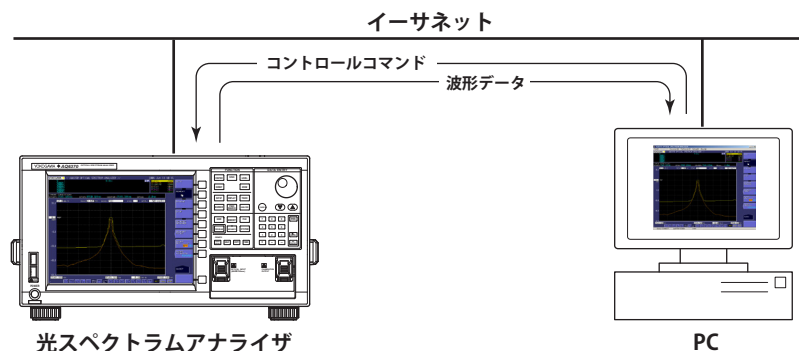


### リモートコントロールモード

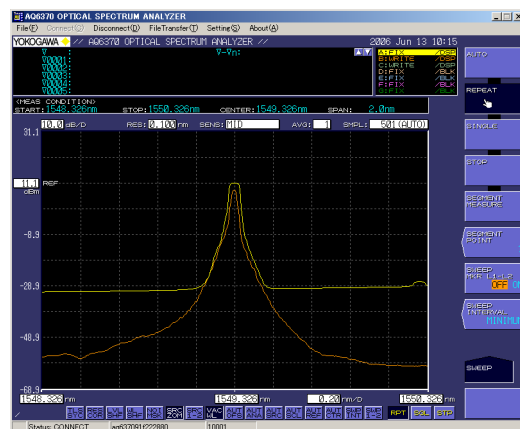
イーサネットインタフェースを介して接続した光スペクトラムアナライザ本体の画面と同じ画面が、PC 画面に表示されます。マウスやキーボードを使って、光スペクトラムアナライザ本体と同様の操作方法で、表示画面を操作できます。

このリモートコントロールモードでは、次のような操作が可能です。

- ・ 接続された光スペクトラムアナライザ本体の測定条件を設定し、測定を実行
- ・ 光スペクトラムアナライザ本体で測定された波形データを PC 画面に表示
- ・ 表示された波形に対してマーカ操作や解析機能を実行し、その結果を表示



### 画面表示例

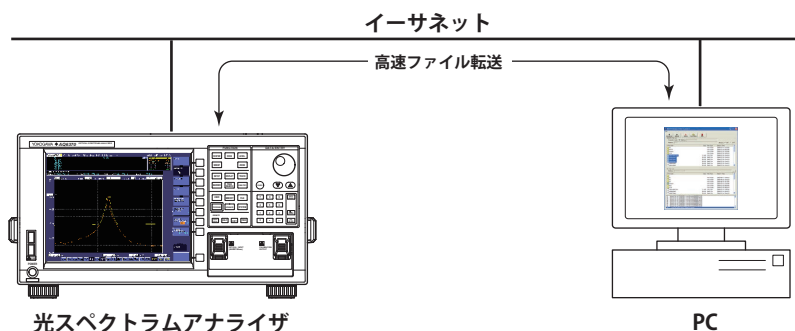


### Note

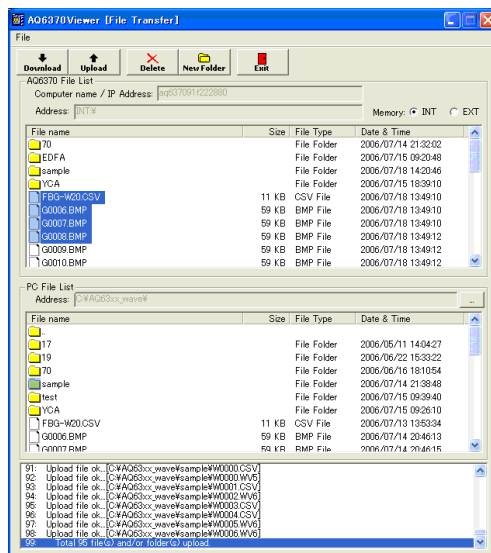
リモートコントロールモードで読み込みが可能な波形データは、本ソフトウェアがインストールされている PC 上に保存されているデータだけです。また、リモートコントロールモードで波形データを保存できるのは、本ソフトウェアがインストールされている PC 上だけです。

## ファイル転送モード

イーサネットインタフェースを介して接続された光スペクトラムアナライザ本体内に保存したファイルを PC に高速に転送できます。また、PC 内のファイルを光スペクトラムアナライザ本体に転送することもできます。

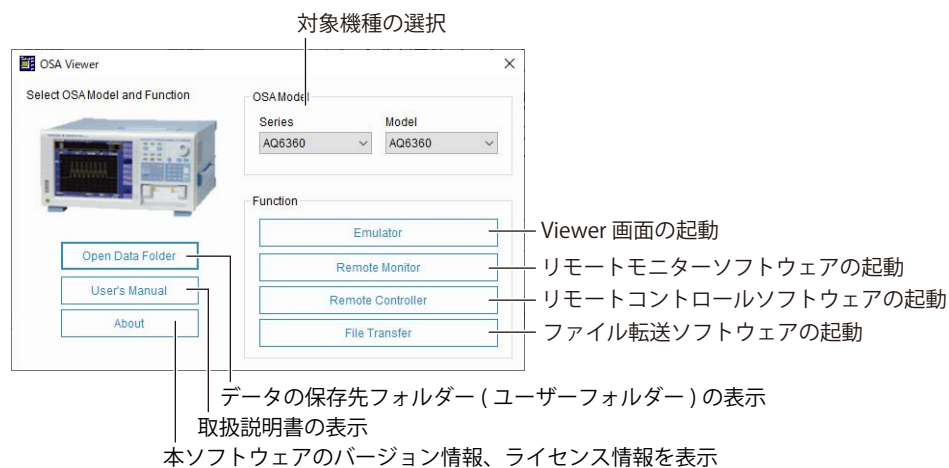


## 画面表示例



### 機種共通のソフトウェア (OSA Viewer)

OSA Viewer を起動すると、トップメニューが表示されます。トップメニューから、Viewer、リモートコントロール、ファイル転送の各ソフトウェアを起動できます。Viewer、リモートコントロール、ファイル転送の各ソフトウェアは、機種別のソフトウェアの Viewer モード、リモートコントロールモード、ファイル転送モードとほぼ同等の機能を備えています。



OSA Viewer は、AQ6360 Series (AQ6360)、AQ6370 Series (AQ6370E/AQ6370D/AQ6370C)、AQ6373 Series (AQ6373/AQ6373B/AQ6373E)、AQ6375 Series (AQ6375/AQ6375B/AQ6375E)、AQ6374 Series (AQ6374/AQ6374E)、AQ6376 Series (AQ6376/AQ6376E)、AQ6377 Series (AQ6377)、AQ6380 Series (AQ6380) に対応しています。AQ6370、AQ6370B には対応してません。

## 1.2 動作モードによる機能の違いと読み込み可能ファイル

### 動作モードによる機能の違い

動作モードによって実行可能な機能が次のように異なります。

- **Viewer モード**

掃引機能以外は、ほぼすべての機能を実行できます。ただし、プログラム機能の実行では、一部動作しないコマンドがあります。

- **リモートコントロールモード**

プログラム機能以外は、ほぼすべての機能を実行できます。ただし、リモートコントロール時に、光スペクトラムアナライザ本体で表示される波形と PC 画面で表示される波形が一致しないことがあります。

- **ファイル転送モード**

光スペクトラムアナライザ本体と PC の間のファイル転送だけが可能です。

### Viewer モードとリモートコントロールモードでの主な動作の違い

詳細は、「4.3 Viewer モードでのソフトキーメニュー」および「5.3 リモートコントロールモードでのソフトキーメニュー」をご覧ください。

フロントパネル キーメニュー	Viewer モード	リモートコントロール モード	備考
CENTER	○	○	
SPAN	○	○	
LEVEL	○	○	
SWEEP	×	○	Viewer モードでは、AUTO、REPEAT、SINGLE、STOP、SEGMENT MEASURE が操作不可
ZOOM	○	△	リモートコントロールモードでは、波形の拡大 / 縮小操作は PC 上だけで可能
SETUP	○	○	
TRACE	○	△	リモートコントロールモードでは、ROLL AVG、MAX HOLD、MIN HOLD のときに本体 / PC 間で波形不一致
DISPLAY	△	△	Viewer モードでは、DISPLAY OFF が操作可能。リモートコントロールモードでは、NOISE MASK 操作のときに本体 / PC 間で波形不一致
MARKER	○	△	リモートコントロールモードでは、マーカ機能は PC 上だけで実行可（ラインマーカ 1、2 は光スペクトラムアナライザ本体でも動作）
PEAK SEARCH	○	△	リモートコントロールモードでは、サーチモード、マルチサーチ機能の操作は PC 上だけで可能
ANALYSIS	○	△	リモートコントロールモードでは、解析機能は PC 上だけで実行
USER	○	○	
MEMORY	○	○	
FILE	○	○	
PROGRAM	△	△	編集は PC 上だけ。Viewer モードでは、一部のコマンドが実行不可。リモートコントロールモードではプログラムの実行が不可
ADVANCE	△	△	Viewer モードでは、DATA LOGGING > START が操作不可。リモートコントロールモードでは、DATA LOGGING が操作不可、テンプレートの編集と実行は PC 上だけ
SYSTEM	△	△	Viewer モードでは、OPTICAL ALIGNMENT、WL CALIBRATION、SYSTEM INFORMATION、RES BW CALIBRATION が操作不可。リモートコントロールモードでは OPTICAL ALIGNMENT、WL CALIBRATION、RES BW CALIBRATION の実行経過が非表示
UNDO/LOCAL	×	○	
COPY	○	○	
FEED	×	×	AQ6370、AQ6370B、AQ6370C、AQ6375、AQ6373
PRESET	○	○	上記以外
HELP	○	○	

○：動作する、×：動作しない、△：制限あり

### 読み込み可能ファイル

Viewer モードまたはリモートコントロールモードでは、AQ6360/AQ6370/AQ6370B/AQ6370C/AQ6370D/AQ6370E/AQ6373/AQ6373B/AQ6373E/AQ6374/AQ6374E/AQ6375/AQ6375B/AQ6375E/AQ6376/AQ6376E/AQ6377/AQ6380、AQ6317 または AQ6319 で保存した以下のファイルを読み込むことができます。( ) 内は読み込み可能なデータの拡張子です。

- **AQ6360 用 Viewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WVA/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WVA/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.STA/.ST9/.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DTA/.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
- **AQ6370 用 Viewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
- **AQ6370BViewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
- **AQ6370CViewer/AQ6370DViewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
  - ロギングデータ (.LG8)
- **AQ6373 用 Viewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.ST9/.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PG9/.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
- **AQ6373B 用 Viewer の場合**
  - 波形データ (.CSV/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - メモリデータ (.CSV/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)
  - 設定データ (.ST9/.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)
  - プログラムデータ (.PG9/.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)
  - 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)
  - テンプレートデータ (.CSV)
  - ロギングデータ (.LG9/.LG8)



- **AQ6374 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
 メモリデータ (.CSV/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
 設定データ (.SX9/.ST9/.ST8/.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)  
 プログラムデータ (.PG9/.PG8/.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)  
 テンプレートデータ (.CSV)  
 ロギングデータ (.LX9/.LG9/.LG8)
- **AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
 メモリデータ (.CSV/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
 設定データ (.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)  
 プログラムデータ (.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)  
 解析結果データ (.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)  
 テンプレートデータ (.CSV)
- **AQ6370E 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
 設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
 プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
 ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)
- **AQ6373E 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
 設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
 プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
 ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)
- **AQ6374E 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
 設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
 プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
 ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)
- **AQ6375E 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
 設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
 プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
 ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)
- **AQ6376E 用 Viewer の場合**  
 波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
 設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
 プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
 解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
 ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)

- **AQ6377 用 Viewer の場合**  
波形データ (.CSV/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
メモリデータ (.CSV/.WV7/.WV6/.WV5/.WV4/.TXT)  
設定データ (.ST7/.ST6/.ST5/.ST4)  
プログラムデータ (.PG7/.PG6/.PG5/.PG4)  
解析結果データ (.DT7/.DT6/.DT5/.DT4/.CSV)  
テンプレートデータ (.CSV)  
ロギングデータ (.LG7)
- **AQ6380 用 Viewer の場合**  
波形データ (.CSV/.WAG/.WXG/.WAE/.WXE/.WAD/.WXD/.WAC/.WXC/.WAA/.WXA/.WVA/.WX9/.WV9/.WV8/.WV7/.WV6)  
設定データ (.STG/.STE/.STD/.STC/.STB)  
プログラムデータ (.PGG/.PGE/.PGD/.PGC/.PGB/.PGA/.PG9/.PG8/.PG7/.PG6)  
解析結果データ (.DT9/.DT8/.DT7/.DT6/.CSV)  
ロギングデータ (.LGG/.LGE/.LGD/.LGC/.LGB)

### Note

- AQ6317 または AQ6319 のデータを読み込んだ場合、一部の機能は動作しません。
- AQ6360/AQ6370/AQ6370B/AQ6370C/AQ6370D/AQ6370E/AQ6373/AQ6373B/AQ6373E/AQ6374/AQ6374E/AQ6375/AQ6375B/AQ6375E/AQ6376/AQ6376E/AQ6377/AQ6380 の波形データを解析する場合は、それぞれの機種に対応した Viewer をお使いください。それ以外の場合、以下の解析結果および表示内容については保証されません。  
POWER 解析、LED 解析、WDM 解析、OSNR (WDM) 解析、EDFA-NF 解析、縦軸の単位の dBm/nm への切り替え。

## 接続可能な AQ6370/AQ6380 本体とファームウェアのアップデート

AQ6370 と AQ6380 は、本体のファームウェアのアップデートが必要な場合があります。AQ6360/AQ6370B/AQ6370C/AQ6370D/AQ6370E/AQ6373/AQ6373E/AQ6373B/AQ6374/AQ6374E/AQ6375/AQ6375B/AQ6376/AQ6377 は、アップデートが不要です。バージョンに関係なく接続可能です。

### アップデートが必要な AQ6370 本体

AQ6370 本体のファームウェアバージョンが「R02.01」より古い場合は、付属の CD-ROM の¥UPDATEFILE ¥AQ6370 フォルダ内にある UPDATE フォルダにある AQ6370 本体ファームウェア用アップデーターでファームウェアをアップデートしてください。リモートコントロールモードおよびファイル転送モードで接続可能な AQ6370 本体は、ファームウェアバージョンが「R02.01」以降のものです。

- **ファームウェアバージョンの確認方法 (AQ6370)**
  1. AQ6370 本体の **SYSTEM** キーを押します。
  2. **MORE** のソフトキーを押して、MORE4/4 を表示します。
  3. **VERSION** のソフトキーを押します。
- **アップデート方法 (AQ6370)**
  1. 付属の CD-ROM と USB メモリを PC にセットします。
  2. CD-ROM 内の UPDATE フォルダを USB メモリにコピーします。
  3. USB メモリを AQ6370 本体にセットします。
  4. AQ6370 光スペクトラムアナライザユーザーズマニュアル (IM 735301-01) の「10.1 ファームウェアのバージョンアップ」に記載の操作に従って、ファームウェアをアップデートします。

### Note

- すでに AQ6370 本体のファームウェアバージョンが「R02.01」以降であるときは、アップデート作業をしないでください。

**アップデートが必要な AQ6380 本体**

AQ6380 本体のファームウェアバージョンが「R01.01」より古い場合は、付属の CD-ROM の¥UPDATEFILE ¥AQ6380 フォルダ内にある UPDATE フォルダにある AQ6380 本体ファームウェア用アップデーターでファームウェアをアップデートしてください。

リモートコントロールモードおよびファイル転送モードで接続可能な AQ6380 本体は、ファームウェアバージョンが「R01.02」以降のものです。

**• ファームウェアバージョンの確認方法 (AQ6380)**

1. AQ6380 本体の **SYSTEM** キーを押します。
2. **More** をタップして、More 4/4 メニューを表示します。
3. **System Information** をタップします。ソフトウェアバージョンが表示されます。

**• アップデート方法 (AQ6380)**

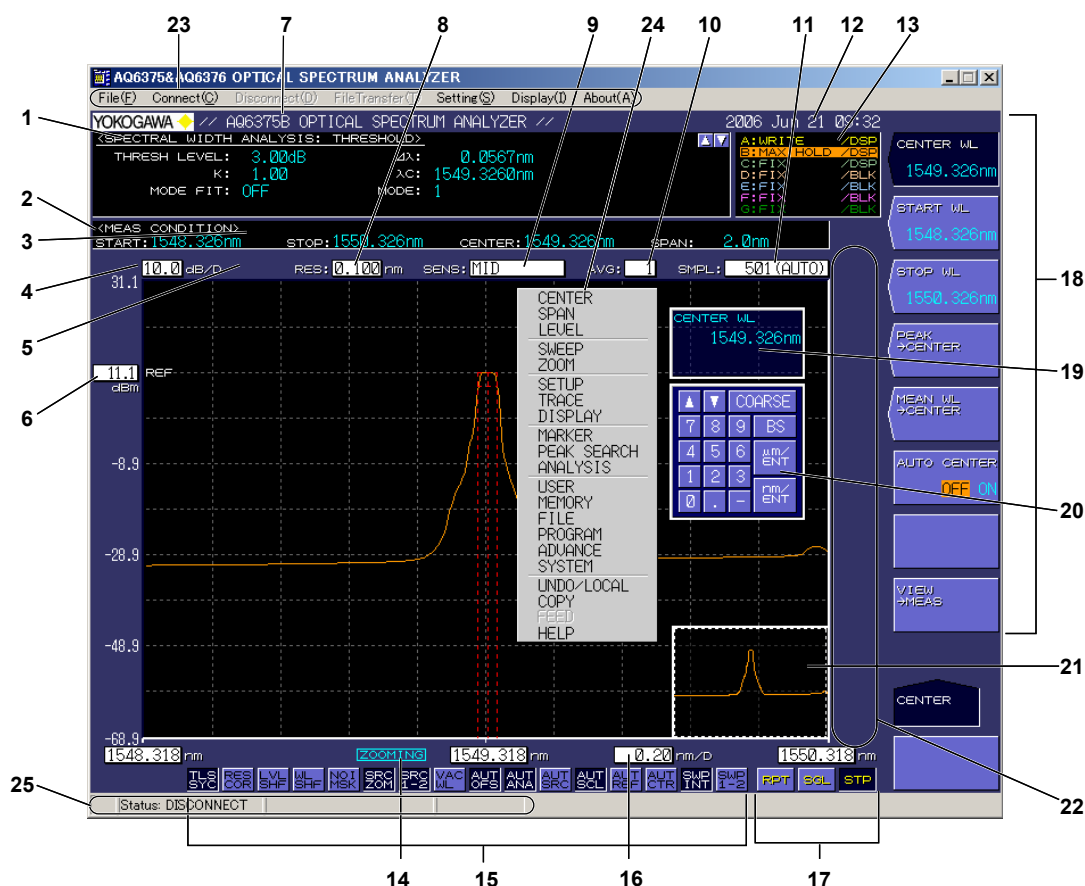
1. 付属の CD-ROM と USB メモリを PC にセットします。
2. CD-ROM 内の UPDATE フォルダを USB メモリにコピーします。
3. USB メモリを AQ6380 本体にセットします。
4. AQ6380 光スペクトラムアナライザスタートガイド (IM AQ6380-02JA) の「5.3 ファームウェアのアップデート」に記載の操作に従って、ファームウェアをアップデートします。

**Note**

すでに AQ6380 本体のファームウェアバージョンが「R01.02」以降であるときは、アップデート作業をしないでください。

## 1.3 表示画面の各部の機能

下図は、Viewer モード時の画面です。実機と同様の画面が表示されます。  
AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer の画面を例に説明します。



### 番号 機能

- 1 データエリア
- 2 測定条件エリア
- 3 測定条件を変更したときに **NEW** を表示
- 4 1 DIV 当たりのレベル軸スケールを表示
- 5 スパン、サンプル数および分解能設定が不適切なときに **UN CAL** を表示
- 6 基準レベルを表示
- 7 ラベルエリア (最大 56 文字)
- 8 分解能を表示
- 9 測定感度を表示
- 10 平均化回数を表示
- 11 サンプル数を表示
- 12 年月日及び時間を表示
- 13 各トレースの状態を表示
- 14 ZOOM 機能を使用しているときに **ZOOMING** を表示

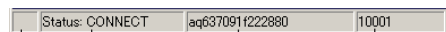
- 15 代表的な設定の状態を表示  
 設定 ON のときは、表示が押された表示になります。画面が白黒表示のときは、黒く表示されます。  
 TLS SYC ..... TLS SNC SWEEP の ON/OFF 設定 (AQ6373 用 Viewer の場合、表示されません)  
 COR SIZ ..... FIBER CORE SIZE の SMALL/LARGE 設定 (AQ6373 用 Viewer にだけ表示されます)  
 RES COR ..... RESOLN CORRECT の ON/OFF 設定  
 LVL SHF ..... LEVEL SHIFT の ON/OFF 設定  
 WF SHF ..... WF SHIFT の ON/OFF 設定  
 NOI MSK ..... NOISE MASK の設定  
 SRC ZOM ..... SEARCH/ANA ZOOM AREA の ON/OFF 設定  
 SRC 1-2 ..... SEARCH/ANA L1-L2 の ON/OFF 設定  
 VAC WL ..... MEAS WL の設定  
 AUT OFS ..... AUTO OFFSET の ON/OFF 設定  
 AUT ANA ..... AUTO ANALYSIS の ON/OFF 設定  
 AUT SRC ..... AUTO SEARCH の ON/OFF 設定  
 AUT SCL ..... AUTO SUB SCALE の ON/OFF 設定  
 AUT REF ..... AUTO REF LEVEL の ON/OFF 設定  
 AUT CTR ..... AUTO CENTER の ON/OFF 設定  
 SWP INT ..... SWEEP INTERVAL の ON/OFF 設定 (AQ6373 用 Viewer の場合、表示されません)  
 SWP 1-2 ..... SWEEP MKR L1-L2 の ON/OFF 設定  
 SMO OTH ..... SMOOTHING の ON/OFF 設定 (AQ6373 用 Viewer にだけ表示されます)  
 RPT ..... REPEAT( リピート掃引 )  
 SGL ..... SINGLE( シングル掃引 )  
 SPT ..... STOP( 掃引停止 )
- 16 1 DIV 当たりの波長軸スケールを表示
- 17 掃引状態を表示  
 RPT = リピート、SGL = シングル、STP = 停止
- 18 ソフトキーメニューを表示
- 19 パラメータ値表示エリア
- 20 パラメータ値入力エリア
- 21 OVERVIEW 表示画面  
 ZOOM 機能使用時にだけ表示されます。
- 22 サブスケールを表示
- 23 メインメニュー  
 機種別のソフトウェアと機種共通のソフトウェアで異なります。  
 機種別ソフトウェア  
 メインメニューの詳細説明は、「3.1 メインメニュー」をご覧ください。  
 File : 画面のハードコピーを出力するときやソフトウェアを終了するときを選択  
 Connect : 光スペクトラムアナライザーに接続するときを選択  
 Disconnect : 光スペクトラムアナライザーとの接続を解除するときを選択  
 File Transfer : 光スペクトラムアナライザーとのファイルを転送するときを選択  
 Setting : 読み込み対象のデータを保存するフォルダを設定するときを選択  
 Display : 波形データを測定した機種、分解能の実力値を表示するときを選択 (AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用 Viewer のみ)  
 About 本ソフトウェアのバージョンを確認するときを選択  
 機種共通のソフトウェア  
 メインメニューの詳細説明は、「7.1 メインメニュー」をご覧ください。  
 Open File : 表示する波形データを選択するときを選択  
 Save Screen : 表示している画面をイメージデータとして保存するときを選択  
 Print : 表示している画面のハードコピーを出力するときを選択  
 Folder Setting: Viewer の File メニューで表示されるフォルダをするときを選択  
 Trace List : 表示しているトレースの情報を表示するときを選択  
 Actual Resolution Tabke : Viewer の横軸分解能を表示するときを選択

### 1.3 表示画面の各部の機能

---

- 24 フロントパネルキーメニュー  
マウスを右クリックしたときに表示される光スペクトラムアナライザーのフロントパネルキーに相当するメニューです。

- 25 ステータスバー



接続先の AQ6370 のポート番号

接続先の AQ6370 のコンピュータ名 /IP アドレス

接続先ステータス (接続時: CONNECT、非接続時: DISCONNECT)

データ送信 / 受信インジケータ  
(コマンド / データを送信または受信したときに緑色点灯)

## 2.1 ソフトウェアの起動と終了

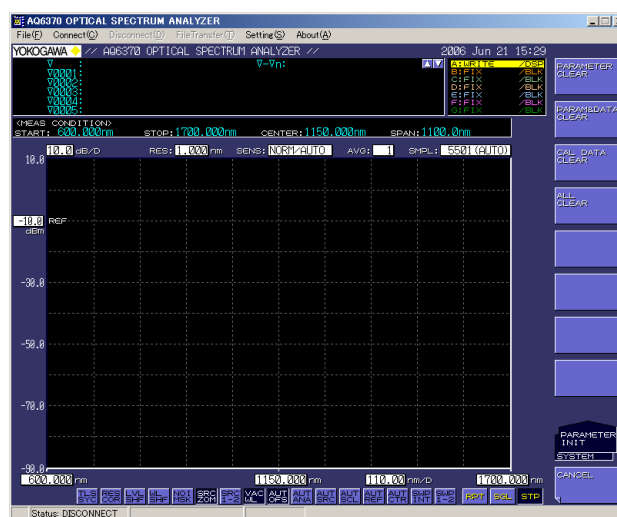
### 操 作

#### 機種別ソフトウェアの起動

AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

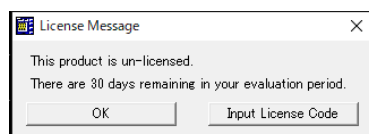
Windows のスタートメニューからプログラム > Yokogawa > AQ6370 Viewer (AQ6360 Viewer/AQ6370B Viewer/AQ6370C Viewer/AQ6370D Viewer/AQ6373 Viewer/AQ6373B Viewer/AQ6374 Viewer/AQ6375&76 Viewer/AQ6377 Viewer/OSAViewer) を選択するか、デスクトップ上の「AQ6370 Viewer」/「AQ6360 Viewer」/「AQ6370B Viewer」/「AQ6370C Viewer」/「AQ6370D Viewer」/「AQ6373 Viewer」/「AQ6373B Viewer」/「AQ6374 Viewer」/「AQ6375&76 Viewer」/「AQ6377 Viewer」ショートカットアイコンをダブルクリックします。

ソフトウェアが起動すると、下図のようなメイン画面が表示されます。起動直後は、前回終了時の画面が表示されます。

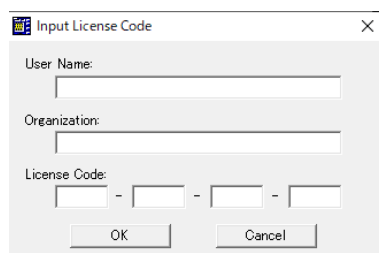


#### ● ライセンス認証について

初回起動時は、下図のライセンス確認画面が表示されます。



ライセンス確認画面で **Input License code** ボタンをクリックし、表示される下図のライセンス入力画面で、User Name、Organization( 入力任意)、およびライセンスコードを入力します。ライセンスコードは、付属の CD ケースまたはライセンスシールに記載されています。



## 2.1 ソフトウェアの起動と終了

ライセンスが認証されると、下図のメッセージが表示されるので、**OK** ボタンをクリックするとメイン画面が表示されます。



### Note

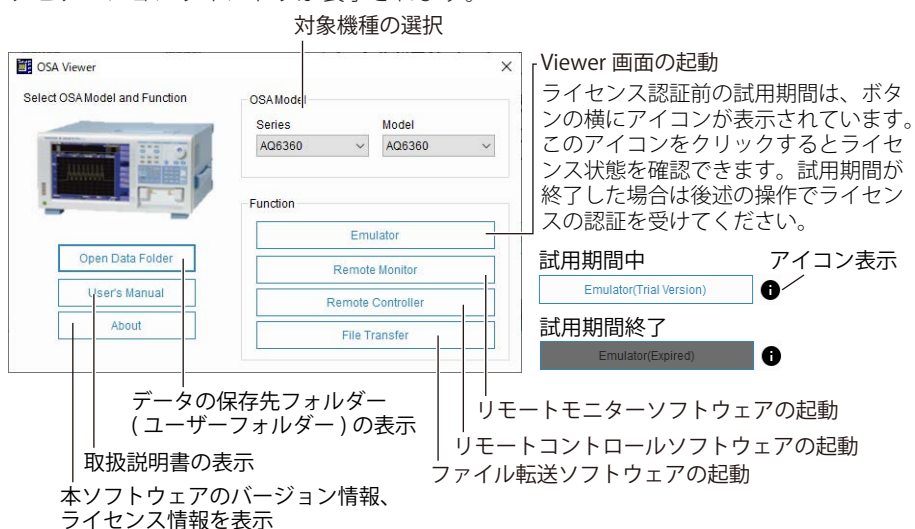
ライセンスコードが間違っている場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、**OK** ボタンをクリックしたのち、ライセンス入力画面でライセンスコードを再入力してください。

### ソフトウェアの終了

ウィンドウのメインメニューの **File > Exit** を選択します。

### 機種共通ソフトウェア (OSA Viewer) の起動

Windows のスタートメニューから **プログラム > Yokogawa > OSA Viewer** を選択するか、デスクトップ上の「OSA Viewer」ショートカットアイコンをダブルクリックします。ナビゲーションウィンドウが表示されます。



Viewer ソフトウェアを起動すると、機種別のソフトウェアと同様にライセンス認証の画面が表示されます。機種別のソフトウェアと同様に操作してください。  
機種共通のソフトウェアの操作方法については、7 章をご覧ください。

#### ・ 対象機種の選択 (Target)

製品群 (Series) から対象機種 (Model) を選択します。

Series	Model
AQ6360	AQ6360
AQ6370	AQ6370C、AQ6370D、AQ6370E
AQ6373	AQ6373、AQ6373B、AQ6373E
AQ6374	AQ6374、AQ6374E
AQ6375	AQ6375、AQ6375B、AQ6375E
AQ6376	AQ6376、AQ6376E
AQ6377	AQ6377
AQ6380	AQ6380

### ソフトウェアの終了

ウィンドウ右上の「X」をクリックします。

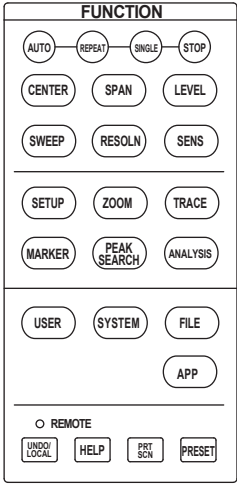


## 2.2 マウスまたはキー操作による基本操作

### マウスによる操作

#### フロントパネルキーメニューの表示

画面上でマウスを右クリックします。光スペクトラムアナライザ本体の FUNCTION セクション内のフロントパネルキー名が表示されます。

AQ6370 Viewer/ AQ6370B Viewer/ AQ6370C Viewer/ AQ6373 Viewer	AQ6360 Viewer/ AQ6370D Viewer/ AQ6373B Viewer/ AQ6374 Viewer/ AQ6375&76 Viewer/ AQ6377 Viewer	AQ6380 Viewer/ AQ6370E Viewer/ AQ6373E Viewer/ AQ6374E Viewer/ AQ6375E Viewer/ AQ6376E Viewer
CENTER SPAN LEVEL SWEEP ZOOM SETUP TRACE DISPLAY MARKER PEAK SEARCH ANALYSIS USER MEMORY FILE PROGRAM ADVANCE SYSTEM UNDO/LOCAL COPY FEED HELP	CENTER SPAN LEVEL SWEEP ZOOM SETUP TRACE DISPLAY MARKER PEAK SEARCH ANALYSIS USER MEMORY FILE PROGRAM ADVANCE SYSTEM UNDO/LOCAL COPY PRESET HELP	

#### メニュー項目の選択とフロントパネルキーメニューの消去

選択したいメニュー項目にポインタを移動して左クリックすると、選択した項目のソフトキーメニューに切り替わります。メニュー項目を選択すると、フロントパネルキーメニューは消えます。また、フロントパネルキーメニュー表示時にフロントパネルキーメニュー以外にポインタを移動して、左クリックしても消えます。

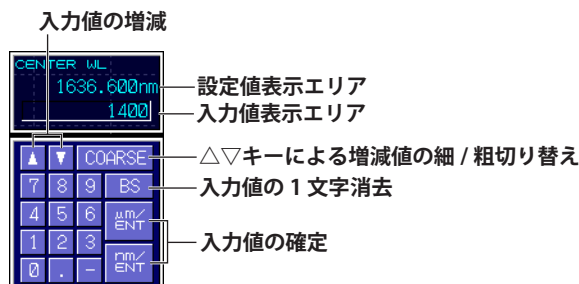
## 2.2 マウスまたはキー操作による基本操作

### ソフトキーの選択とパラメータ値表示エリア / 入力エリア表示時の操作

選択したいソフトキーメニュー項目にポインタを移動して、左クリックします。

数値入力が必要なソフトキーを選択したときは、パラメータ表示エリア / 入力エリアが表示されます。下図に従って、入力エリア内のキーをクリックするとパラメータ値を変更できます。

- AQ6370/AQ6370C/AQ6370D/AQ6373/AQ6373B/AQ6375/AQ6375B/AQ6376/AQ6377 Viewer のとき



### Note

- テンキーで入力した値が、設定可能な値と一致しない場合には設定可能な最も近い値に設定されます。
- BS キーを続けて押して入力値表示エリア内を空にすると入力値エリアが消え、入力を始める前の状態に戻ります。
- 「OFF」が設定できる項目で「OFF」を設定するときは、▽キーを押し続けます。

- AQ6360/AQ6374 Viewer のとき



- AQ6370E/AQ6373E/AQ6374E/AQ6375E/AQ6376E/AQ6380 Viewer のとき



## キーボードによる操作

PC のキーボードでもマウスによる操作と同様の操作を行えます。

パネルキーとキーボードの対応は、次のパネルキー対応表をご覧ください。

また、ラベルやファイル名、数値などはキーボードで直接入力できます。

パネルキー対応表

分類		ファンクション名	キーボード	内容
各機能の 設定 / 実行	掃引	SWEEP	[SHIFT]+[F1]	掃引の実行 / 設定
	測定条件 設定	CENTER	[SHIFT]+[F2]	測定中心波長設定
		SPAN	[SHIFT]+[F3]	測定スパン設定
		LEVEL	[SHIFT]+[F4]	レベル軸設定
		SETUP	[SHIFT]+[F5]	分解能 / 感度等設定
	表示条件 設定	TRACE	[SHIFT]+[F6]	トレース設定
		ZOOM	[SHIFT]+[F7]	表示スケール設定
		DISPLAY	[SHIFT]+[F8]	画面表示設定
	解析	MARKER	[SHIFT]+[F9]	マーカの設定
		SEARCH	[SHIFT]+[F10]	PEAK/BOTTOM サーチ機能
		ANALYSIS	[SHIFT]+[F11]	解析機能の設定
	その他	USER	[ALT]+[F1]	ユーザ設定メニュー
		MEMORY	[ALT]+[F2]	メモリ
		FILE	[ALT]+[F3]	ファイル保存 / 読込、ファイル操作
PROGRAM		[ALT]+[F4]	プログラム機能	
ADVANCE		[ALT]+[F5]	拡張機能	
APP		[ALT]+[F5]	アプリケーション機能	
SYSTEM		[ALT]+[F6]	システム設定	
ソフトキー		F1 to F9	F1 to F9	メニューにより異なる
補助キー		UNDO/LOCAL	[ALT]+[F9]	UNDO 機能
		COPY	[ALT]+[F10]	画面コピー
		HELP	[ALT]+[F12]	ヘルプ表示 (HELP 終了は UNDO/ LOCAL キー)
パラメータ値入力		テンキー	0123456789.-	数値入力
		BACK SPACE	Back Space	入力値の 1 文字削除
		μm/ENTER	なし	入力内容の確定
		nm/ENTER	ENTER	入力内容の確定
		ロータリノブ	[→]、[←]	数値変更、項目変更
		矢印キー (▲▼)	[↑]、[↓]	数値のワンステップ変更、項目変更、 テーブルスクロール
		COARSE	[ALT]+[N]	エンコーダの微 / 粗切り替え

### ソフトキーメニューの形状と働きについて

ソフトキーメニューでは、下図のように、形状の違いでキーの機能が理解できるように工夫されています。



通常のソフトキーです。  
押すと、直ちに機能を実行します。



次の階層があります。  
表示項目の関連内容が次の階層にあることを表わします。  
押すと、次の階層のソフトキーが表示されます。メニューの一番下に表示されているときに押すと、メニュー全体が切り替わります。



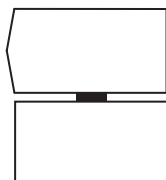
別ウインドウが表示されます。  
押すと、画面に別ウインドウが表示され、パラメータ数値の入力状態になります。



次の階層と別ウインドウが表示されます。  
押すと、次の階層に移り、別ウインドウが表示されます。



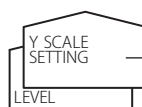
前の階層に戻るソフトキーです。  
押すと、前の階層のソフトキーに戻ります。



選択のソフトキーです。  
黒い帯で接続されているソフトキーのうち、どれか一つを選択します。選択しているソフトキーは反転表示します。  
ソフトキーが数個つながる場合があります。

#### **Note**

一番下のメニュー項目の上に表示される下図の形状のものは、ソフトキーではありません。フロントパネルキー名またはソフトキーメニューの階層を表します。



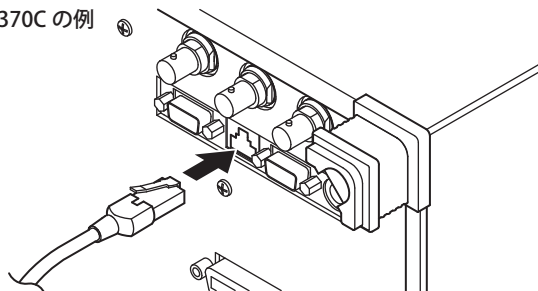
ソフトキーメニューの階層を表しています。  
この場合、ソフトキーメニューが Y SCALE SETTING の階層下にあることを示します。

## 2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定

### 接続方法

ハブなどに接続された UTP(Unshielded Twisted-Pair) ケーブルまたは STP(Shielded Twisted-Pair) ケーブルを光スペクトラムアナライザ本体のリアパネルにある 100BASE-TX ポートに接続します。

AQ6370C の例



#### 接続時の注意

- ・ 光スペクトラムアナライザ本体と PC との接続には、必ずハブを介してストレートケーブルを使用してください。
- ・ UTP ケーブル (ストレートケーブル) を使用する場合は、必ずカテゴリ 5 のケーブルを使用してください。

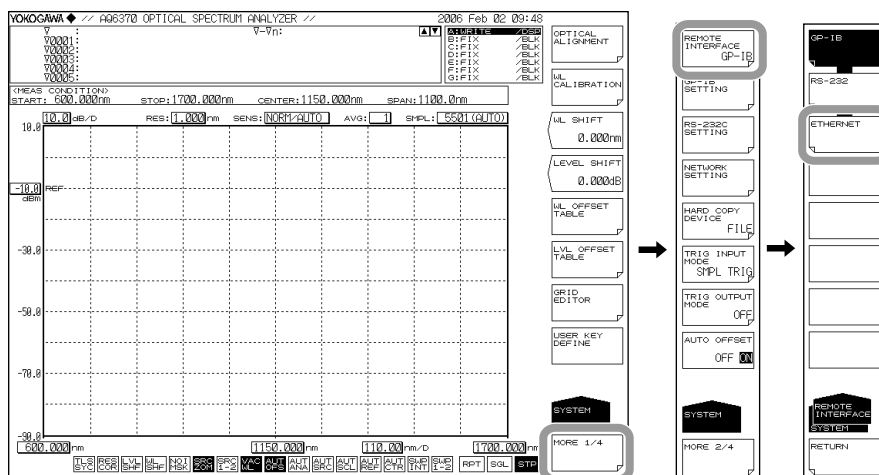
### イーサネットの設定

リモートコントロールモードまたはファイル転送モードで使用するときは、以下の操作手順に従って、光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット設定を行ってください。AQ6370 の画面を例に説明します。

### 操 作

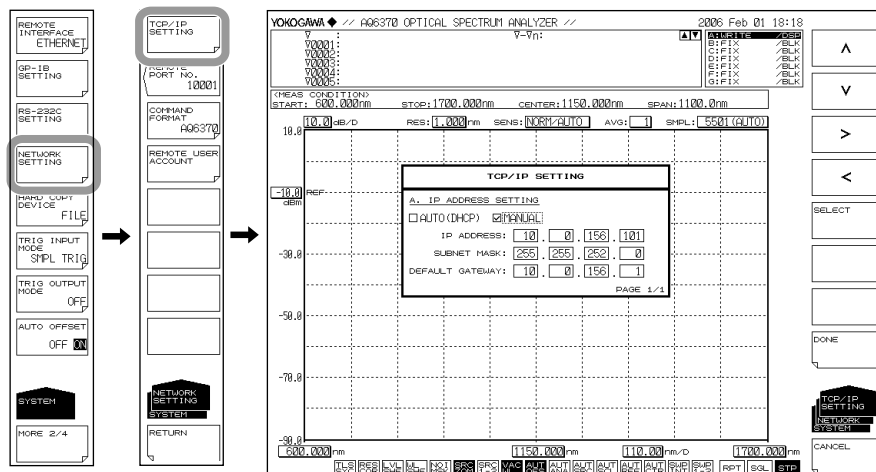
#### 通信インタフェースの選択

1. **SYSTEM** を押します。  
システム設定メニューが表示されます。
2. **MORE1/4** のソフトキーを押します。  
通信インタフェース設定メニューが表示されます。
3. **REMOTE INTERFACE** のソフトキーを押します。  
使用するインタフェースの設定メニューが表示されます。
4. **ETHERNET** のソフトキーを押して、通信インタフェースをイーサネットに設定します。



## TCP/IP の設定

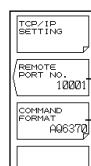
5. NETWORK SETTING のソフトキーを押します。  
イーサネットに関する設定メニューが表示されます。
6. TCP/IP SETTING のソフトキーを押します。  
TCP/IP の設定メニューが表示されます。



7. <、> のソフトキーで、AUTO(DHCP) または MANUAL のどちらかを選択します。
8. SELECT のソフトキーを押します。
  - ・ 選択した項目がチェックされます。
  - ・ AUTO を選択した場合は、操作 10 に進んでください。
9. MANUAL を選択した場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。<、>、^、v のソフトキーで入力位置を選択し、ENTER を押します。
10. ロータリノブまたは矢印キーで数値を入力し、ENTER を押します。
11. すべての設定が終了したら、DONE のソフトキーを押します。

## リモートポート番号の設定

12. REMOTE PORT NO. のソフトキーを押します。  
ポート番号の設定画面が表示されます。
13. ロータリノブまたは矢印キーでポート番号を入力し、ENTER を押します。



リモートポート番号の設定

「AQ6370」に設定されていることを確認してください。

## ユーザーアカウント情報の設定

14. USER ACCOUNT のソフトキーを押します。  
ユーザーアカウント情報の設定画面が表示されます。
15. リモート接続時の認証に使用するユーザー名とパスワードを設定します。



ユーザー名の設定

パスワードの設定

### TCP/IP の設定

本機能を正しく使用するためには、光スペクトラムアナライザ本体の IP アドレスを正しく設定する必要があります。

光スペクトラムアナライザ本体を接続するネットワーク上に DHCP サーバーが用意されている場合、光スペクトラムアナライザ本体に与えられる IP アドレスは自動的に設定されます。その場合は、[SYSTEM] <NETWORK SETTING><TCP/IP SETTING> の IP ADDRESS SETTING は "AUTO" に設定してください。

光スペクトラムアナライザ本体を接続するネットワークの詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

### REMOTE PORT NO.( リモートポート番号 ) の設定

本ソフトウェアでリモート制御するためのポート番号を設定します。デフォルトは、「10001」です。

### 接続

光スペクトラムアナライザ本体は、1 台のコントローラ ( 外部 PC 等 ) とだけ接続できます。すでにコントローラと接続した状態で、他のコントローラから接続要求があった場合、新しい接続は行わずに現状の接続が維持されます。

### コンピュータ名

光スペクトラムアナライザ本体のコンピュータ名は以下のとおりです。

AQ6360: "6360@@@@@@@@"  
AQ6370: "AQ6370@@@@@@@@"  
AQ6370B: "6370B@@@@@@@@"  
AQ6370C: "6370C@@@@@@@@"  
AQ6370D: "6370D@@@@@@@@"  
AQ6370E: "6370E@@@@@@@@"  
AQ6373: "6373@@@@@@@@"  
AQ6373B: "6373B@@@@@@@@"  
AQ6373E: "6373E@@@@@@@@"  
AQ6374: "6374@@@@@@@@"  
AQ6374E: "6374E@@@@@@@@"  
AQ6375: "AQ6375@@@@@@@@"  
AQ6375B: "6375B@@@@@@@@"  
AQ6375E: "6375E@@@@@@@@"  
AQ6376: "6376@@@@@@@@"  
AQ6376E: "6376E@@@@@@@@"  
AQ6377: "6377@@@@@@@@"  
AQ6380: "6380@@@@@@@@"

@@@@@@@@ は計器番号です。計器番号は、光スペクトラムアナライザ本体の背面に 9 桁の英数字で記載されています。

コンピュータ名は変更できません。

### ユーザーアカウントの設定

本ソフトウェアでは、光スペクトラムアナライザ本体とリモート接続するときに、ユーザー名とパスワードを使用して認証を行います。

本ソフトウェアと光スペクトラムアナライザ本体は、パスワード認証のとき、MD5 アルゴリズム (RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm) を使用した暗号認証を行います。

ユーザー名の初期値は、「anonymous」です。このユーザー名を使用するときは、ユーザー認証用のパスワードは不要です。



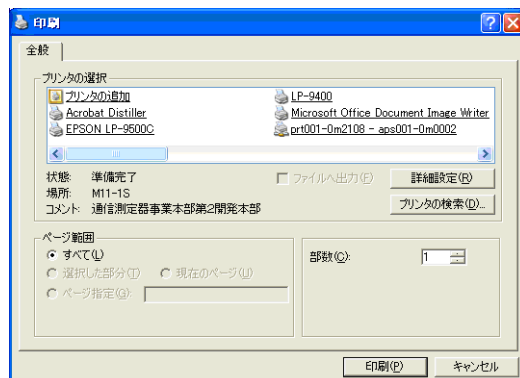
## 3.1 メインメニュー

機種別ソフトウェアのメインメニューの共通操作を、AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

### File メニュー

#### Print

PC に接続したプリンタに画面のハードコピーを出力するときに選択します。操作説明は、「3.2 画面のハードコピー」をご覧ください。

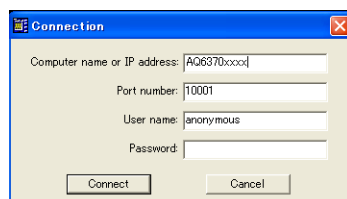


#### Exit

本ソフトウェアを終了するときに選択します。

### Connect メニュー

イーサネットを介して光スペクトラムアナライザ本体に接続するときに選択します。接続されると、動作モードがリモートコントロールモードになります。操作説明は、「5.1 接続 / 切断操作」をご覧ください。



### Disconnect メニュー

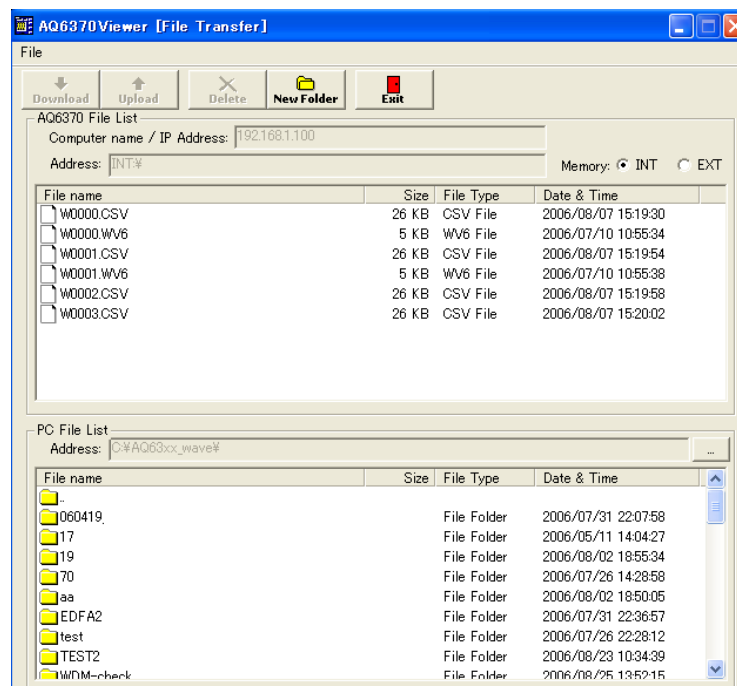
光スペクトラムアナライザ本体への接続を終了するときに選択します。選択すると、下図のダイアログボックスが表示されます。OK をクリックすると、接続が終了し、動作モードが Viewer モードに戻ります。操作説明は、「5.1 接続 / 切断操作」をご覧ください。



## FileTransfer メニュー

光スペクトラムアナライザ本体に保存されているデータを PC に転送するときに選択します。

操作説明は、「6.1 ファイル転送操作」をご覧ください。

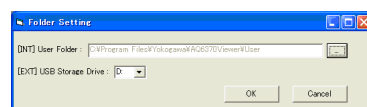


## Setting メニュー

### Folder Setting

Viewer モードまたはリモートコントロールモードで読み込むファイルを保存する PC 上のフォルダ (ユーザーフォルダ)、または USB ストレージをセットするドライブを変更するときに選択します。デフォルトでは、本ソフトウェアが保存されているフォルダがユーザーフォルダです。

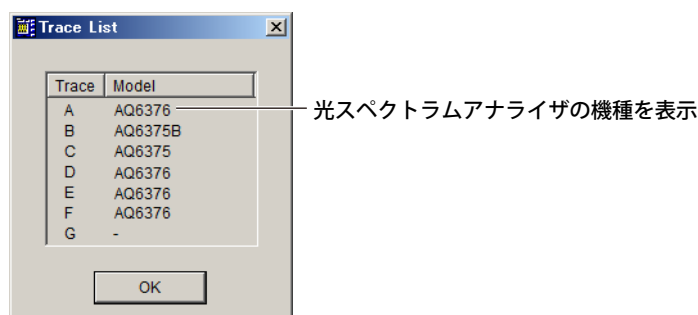
操作説明は、「3.3 ユーザーフォルダの設定」をご覧ください。



## Display メニュー

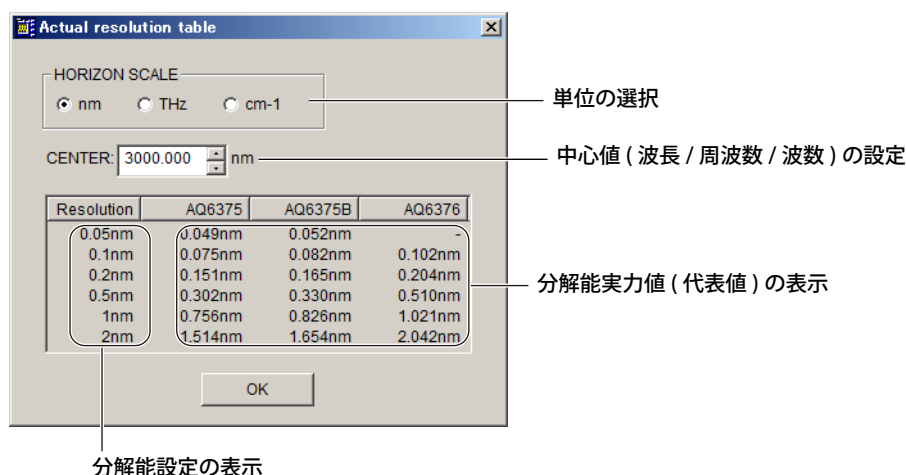
### Trace List(AQ6370C/AQ6370D/AQ6374/AQ6375/AQ6375B/AQ6376/AQ6360/AQ6377 用のメニュー)

各トレースの波形データを測定した光スペクトラムアナライザの機種名を一覧表示します。



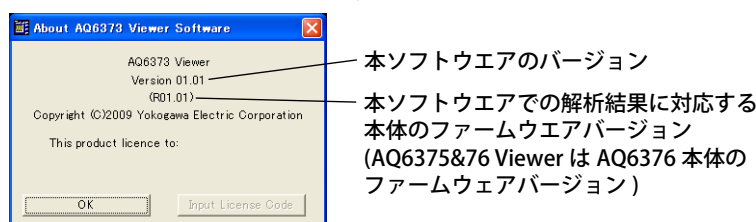
### Actual resolution table(AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用のメニュー)

光スペクトラムアナライザの機種 (AQ6375/AQ6375B/AQ6376) の中心波長における分解能実力値 (代表値) を各分解能設定ごとに一覧表示します。



## About メニュー

本ソフトウェアのバージョンを確認するときに選択します。



### Note

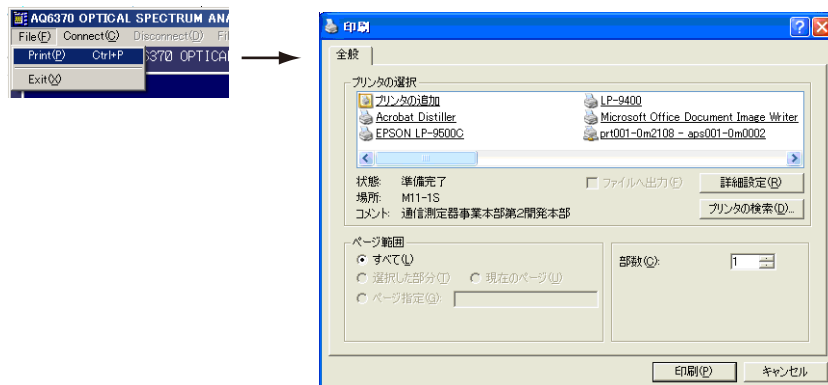
- About メニューの選択で表示されるバージョン「Rxx.xx」(xx は数値) は、本ソフトウェアの解析結果に対応している光スペクトラムアナライザのファームウェアバージョンです。光スペクトラムアナライザ本体のファームウェアバージョンが About メニューの選択で表示されるバージョンと異なる場合には、本ソフトウェアの解析結果が光スペクトラムアナライザ本体の解析結果と一致しない場合があります。
- リモートコントロールモードのときに SYSTEM>VERSION で表示されるソフトウェアバージョンは、光スペクトラムアナライザ本体のソフトウェアバージョンです。

## 3.2 画面のハードコピー

下記の操作で、表示されている画面を印刷できます。

### 操 作

1. メインメニューの **File > Print** をクリックします。  
印刷設定ウィンドウが表示されます。



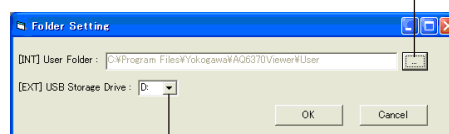
2. 出力プリンタ、部数などを設定し、**印刷**をクリックします。

## 3.3 ユーザーフォルダの設定

下記の操作で、Viewerモードまたはリモートコントロールモードで読み込むファイルを保存するユーザーフォルダ（またはUSBストレージをセットするドライブ）を変更できます。

### 操 作

1. メインメニューの **Setting > User Folder Setting** をクリックします。  
フォルダ設定ウィンドウが表示されます。



ユーザーデータファイルの読み込み先を「INT」にしたときの読み込み先フォルダの選択

ユーザーデータファイルの読み込み先を「EXT」にしたときの USB ストレージ用ドライブの選択

2. フォルダまたはドライブを選択し、**OK** をクリックします。

## 4.1 波形データの読み込み / 波形表示操作

下記の操作で、波形データを読み込み、画面に表示できます。  
AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

### 操 作

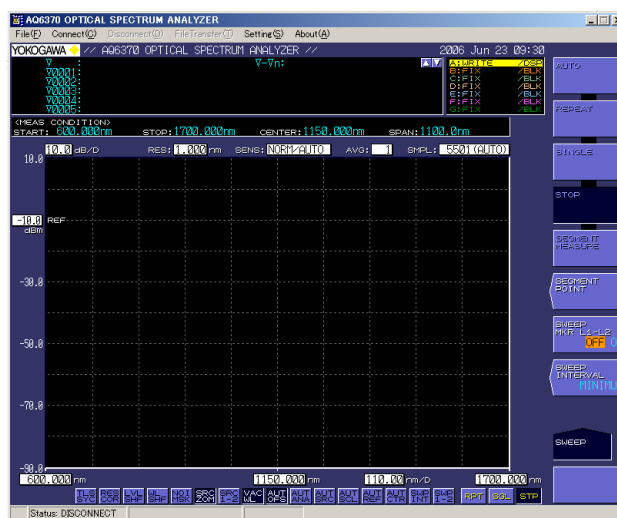
#### 波形データの準備

1. ユーザーフォルダとして設定したフォルダに、読み込みたい波形データファイルを USB ストレージメディアからコピーしておきます。
  - ・ユーザーフォルダの設定の仕方は、「3.3 ユーザーフォルダの設定」をご覧ください。
  - ・USB ストレージメディアへの波形データの保存方法は、光スペクトラムアナライザのユーザーズマニュアルの「8.3 波形データの保存 / 読み込み」をご覧ください。
  - ・USB ストレージメディア内に保存した波形データファイルを読み込む場合には、USB ストレージメディアを PC にセットします。

#### 波形データの読み込み

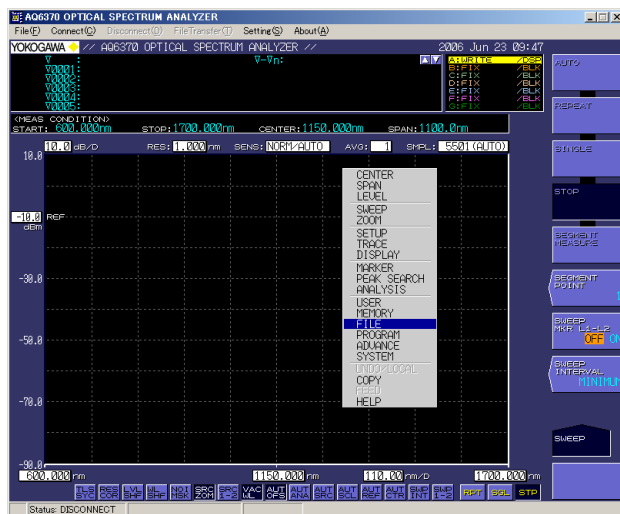
2. Windows のスタートメニューからプログラム > Yokogawa > AQ6370 Viewer (AQ6370B Viewer/AQ6370C Viewer/AQ6370D Viewer/AQ6373 Viewer/AQ6373B Viewer/AQ6374 Viewer/AQ6375&76 Viewer/AQ6360 Viewer/AQ6377 Viewer) を選択し、本ソフトウェアを起動します。

デスクトップ上のショートカットアイコンのダブルクリックでも起動できます。



#### 4.1 波形データの読み込み / 波形表示操作

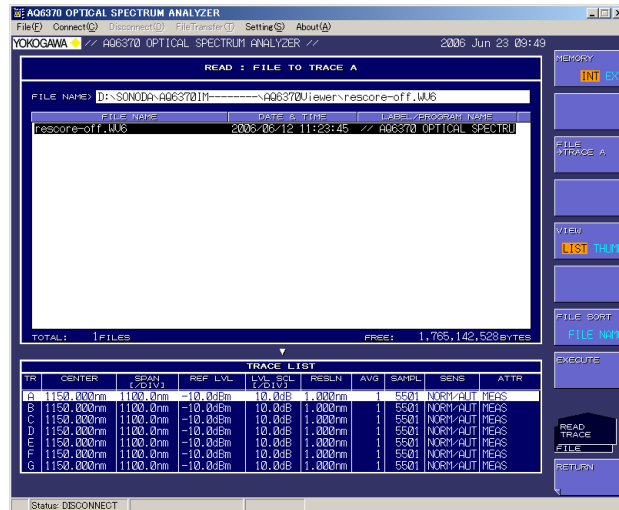
3. 本ソフトウェアの画面上でマウスを右クリックして、フロントパネルキーメニューを表示します。
4. フロントパネルキーメニューの **FILE** をクリックします。



5. ソフトキーメニューの ITEM SELECT で TRACE が選択されていることを確認して、ソフトキーメニューの **READ** をクリックします。  
ITEM SELECT で TRACE が選択されていないときは、ITEM SELECT をクリックして、TRACE を選択してください。

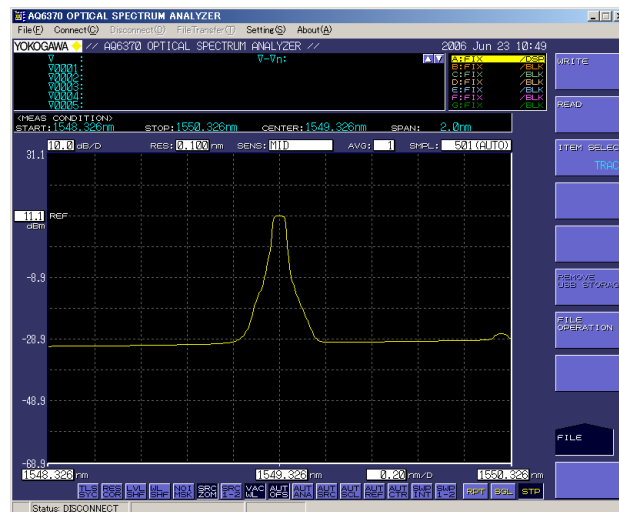


6. 読み込みたいファイルを選択して、ソフトキーメニューの **EXECUTE** をクリックします。
- ・ユーザーフォルダに設定したフォルダ内のファイルが表示されます。ユーザーフォルダを変更するときの操作は、「3.3 ユーザーフォルダの設定」をご覧ください。
  - ・USB ストレージから直接ファイルを読み出すときは、ソフトキーメニューの **MEMORY** をクリックして **EXT** を選択したあと、この操作を行います。  
USB ストレージメディアをセットするドライブを変更するときの操作は、「3.3 ユーザーフォルダの設定」をご覧ください。



### 波形の表示

7. ソフトキーメニューの **RETURN** をクリックします。  
読み込まれたデータの波形が下図のように表示されます。



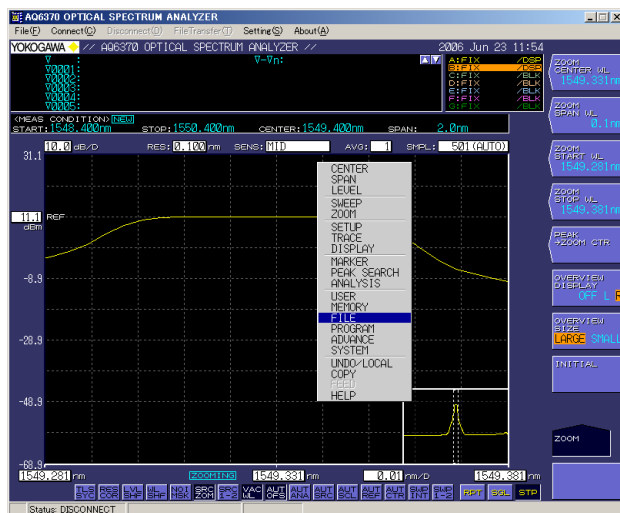


## 4.2 設定データの保存操作

Viewer モードで設定した測定条件や表示条件を保存するときは、下記の操作を行います。  
AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

### 操 作

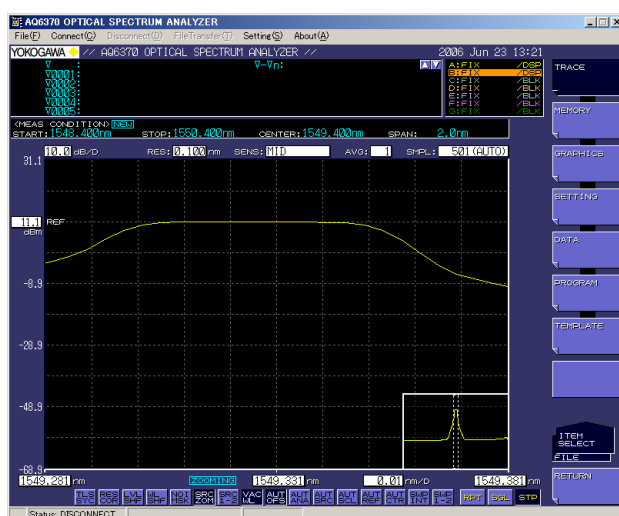
1. 本ソフトウェアの画面上でマウスを右クリックして、フロントパネルキーメニューを表示します。
2. フロントパネルキーメニューの **FILE** をクリックします。



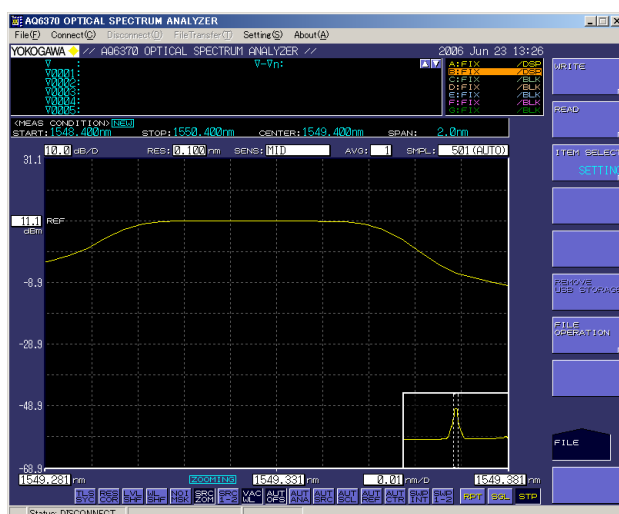
3. ソフトキーメニューの **ITEM SELECT** をクリックします。



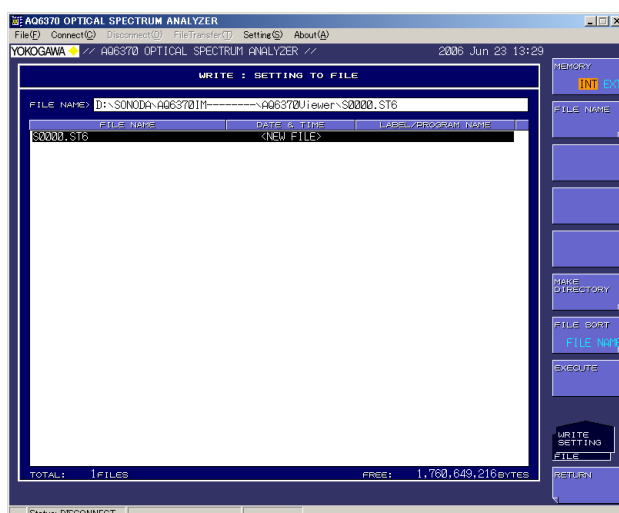
4. ソフトキーメニューの **SETTING** をクリックします。



5. ソフトキーメニューの **WRITE** をクリックします。  
ファイルリストが表示されます。

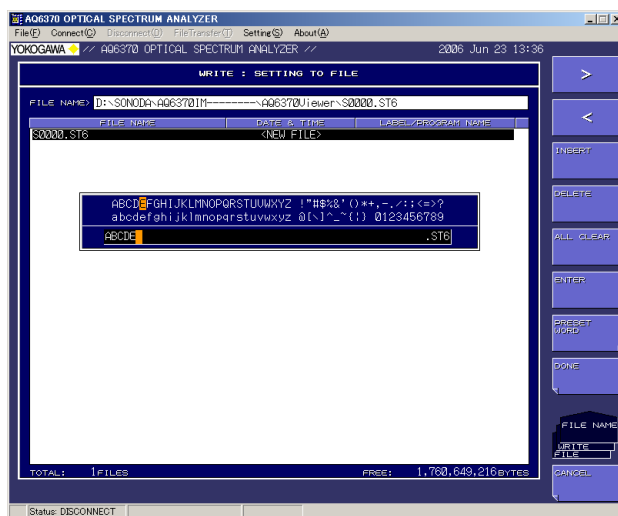


6. ソフトキーメニューの **FILE NAME** をクリックします。

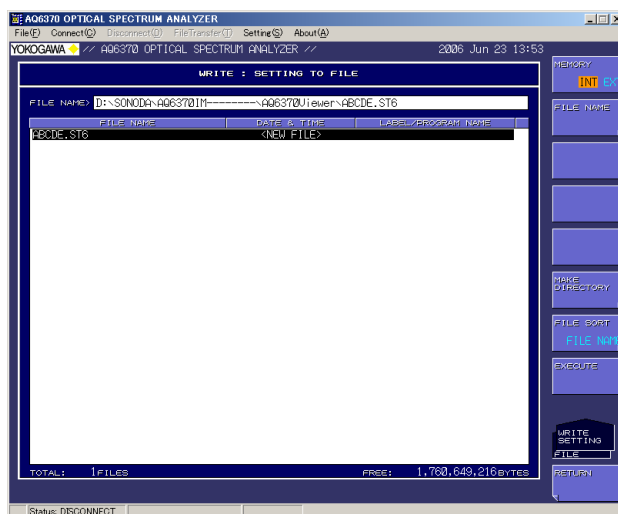


## 4.2 設定データの保存操作

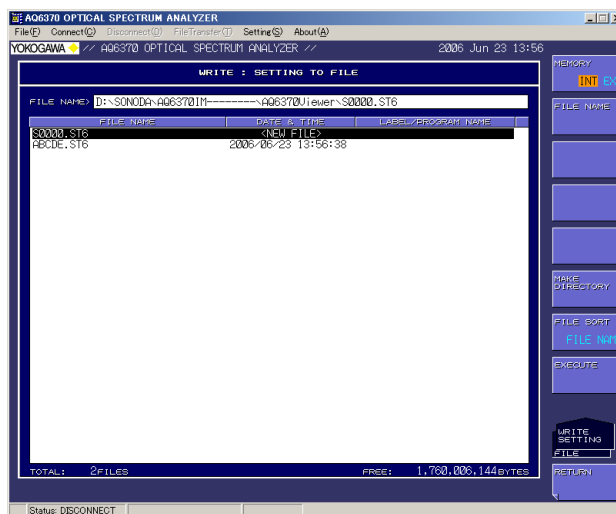
7. キーボードで設定したいファイル名を入力します。  
文字入力ウィンドウの上に表示された文字列とソフトキーメニューの操作で、ファイル名を入力することもできます。入力方法は、光スペクトラムアナライザのユーザーズマニュアルの「4.3 数値 / 文字列の入力」をご覧ください。



8. ソフトキーメニューの **DONE** をクリックします。  
ファイル名が確定します。



9. ソフトキーメニューの **EXECUTE** をクリックします。  
保存が実行され、ファイルリストにファイル名が表示されます。



## 4.3 Viewer モードでのソフトキーメニュー

Viewer モードにおける各ソフトキーメニュー項目のうち、操作ができないメニュー項目と操作はできるが実行できないメニュー項目を表にまとめています。モデルによっては搭載されていない機能もあります。

ソフトキーメニューの詳細については、各光スペクトラムアナライザの取扱説明書をご覧ください。

### 操作ができないメニュー項目

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
SWEEP	AUTO REPEAT SINGLE STOP SEGMENT MEASURE	掃引
DISPLAY	DISPLAY OFF	画面表示 OFF
MARKER	MARKER LIST PRINT	マーカの値をプリントアウト
ANALYSIS	RESULT PRINT	解析結果のプリントアウト
FILE	REMOVE USB STORAGE	USB ストレージの取り外し
PROGRAM	PROGRAM EDIT > EDIT > LIST PRINT	プログラムリストのプリントアウト
	OUTPUT WINDOW > PRINT OUTPUT WIN	OUTPUT WINDOW のプリントアウト
ADVANCE	DATA LOGGING > START	ロギングの開始
SYSTEM(MORE 1/4)	OPTICAL ALIGNMENT	モノクロメータのアライメント調整
	WL CALIBRATION	波長校正
SYSTEM(MORE 2/4)	REMOTE INTERFACE	通信インタフェースの設定
	GP-IB SETTING	GP-IB インタフェースの設定
	RS-232 SETTING	RS-232 インタフェースの設定
	NETWORK SETTING	イーサネットインタフェースの設定
SYSTEM(MORE 3/4)	SET CLOCK	日付時刻の設定
SYSTEM(MORE 4/4)	REMOVE USB STORAGE	USB ストレージの取り外し
	VERSION	バージョン表示、ファームウェアのバージョンアップ
	SYSTEM INFORMATION	システム情報の表示
	RES BW CALIBRATION	実効分解能校正の実行
	SHUT DOWN	接続機器のシャットダウン
FEED	—	紙送り

### 設定はできるが実行できないメニュー項目

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
PROGRAM	PROGRAM EXECUTE > EXECUTE	プログラムの実行（一部のコマンド）

## 4.4 プログラム機能で動作しないコマンド

Viewer モードでは、プログラム機能は次のように動作します。

- PROGRAM EDIT(プログラムの編集)  
すべてのコマンドを入力、編集できます。
- PROGRAM EXECUTE(プログラムの実行)  
掃引動作やプリンタ動作などハードウェアの動作が含まれるコマンドは、実行できません。実行できないコマンドを下表に示します。

コマンド		動作内容
SWEEP	AUTO	スキップ (処理しない)
	REPEAT	測定条件と画面の更新だけ可能
	SINGLE	
	STOP	測定条件と画面の更新だけ可能
	SEGMENT MEASURE	
SYSTEM	OPTICAL ALIGNMENT	スキップ (処理しない)
	SELF WL CALIBRATION	
	EXT WL CALIBRATION ****.***nm	
	EMIS LINE WL CALIBRATION ****.***nm	
	EXT-GAS WL CALIBRATION ****.***nm	
	AUTO OFFSET ###	ソフトキーの ON/OFF 変更だけ可能
	REMOVE USB STORAGE	スキップ (処理しない)
	RES BW CALIBRATION	
SPECIAL COMMAND	COPY ON	スキップ (処理しない)
	PRINTER FEED **	
	PRINT '-----'	
	PRINT @@@@	
	PRINT @@@@;	
	PRINT DATA AREA	
	PRINT OUTPUT WINDOW	
	SEND ** '-----'	
	SEND ** '-----';@	
	SEND ** '-----';@;'-----'	
	RESET OPTION	
	SROLL **,S	
	SEND RS-232 '-----'	
	SEND RS-232 '-----';@	
	SEND RS-232 '-----';@;'-----'	
	SEND LAN @\$, ***** '-----'	
	SEND LAN @\$, ***** '-----';@	
	SEND LAN @\$, ***** '-----';@;'-----'	
	RECEIVE **,@\$	
	SEND RS-232 '-----';@\$	
	SEND RS-232 @\$, ***** '-----';@\$	
	SET DELIMITER ###	

## 5.1 接続 / 切断操作

### 操 作

下記の操作で、リモート制御したい光スペクトラムアナライザに接続します。  
AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

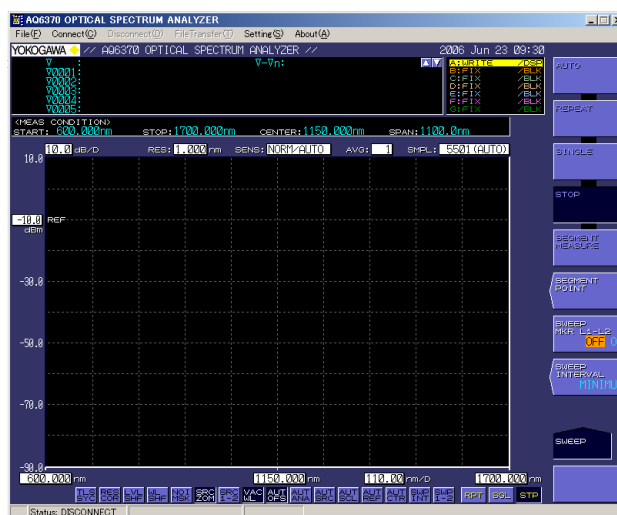
#### 光スペクトラムアナライザの準備

1. 「2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定」に従って、光スペクトラムアナライザ本体をイーサネットに接続します。

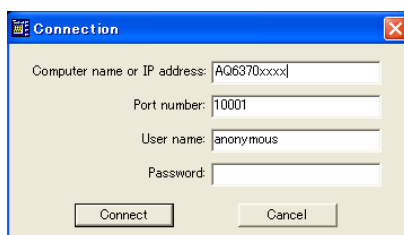
#### 接続

2. Windows のスタートメニューから **プログラム > Yokogawa > AQ6370 Viewer** (AQ6370B Viewer/AQ6370C Viewer/AQ6370D Viewer/AQ6373 Viewer/AQ6373B Viewer/AQ6374 Viewer/AQ6375&76 Viewer/AQ6360 Viewer/AQ6377 Viewer) を選択して、本ソフトウェアを起動します。

デスクトップ上のショートカットアイコンのダブルクリックでも起動できます。



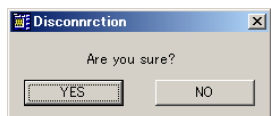
3. メインメニューの **Connect** をクリックします。  
下図のような Connection ウィンドウが表示されます。



4. コンピュータ名 (または IP アドレス)、ポート番号、認証ユーザー名および認証パスワードを入力して、**Connect** ボタンをクリックします。
  - 光スペクトラムアナライザ本体のコンピュータ名は以下のとおりです。  
AQ6370: "AQ6370@@@@@@@@"  
AQ6370B: "6370B@@@@@@@@"  
AQ6370C: "6370C@@@@@@@@"  
AQ6370D: "6370D@@@@@@@@"  
AQ6373: "6373@@@@@@@@"  
AQ6373B: "6373B@@@@@@@@"  
AQ6374: "6374@@@@@@@@"  
AQ6375: "AQ6375@@@@@@@@"  
AQ6375B: "6375B@@@@@@@@"  
AQ6376: "6376@@@@@@@@"  
AQ6360: "6360@@@@@@@@"  
AQ6377: "6377@@@@@@@@"  
@@@@@@@@ は計器番号です。計器番号は、光スペクトラムアナライザ本体の背面に 9 桁の英数字で記載されています。  
コンピュータ名は変更できません。
  - 光スペクトラムアナライザ本体のポート番号は「2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定」にある操作で設定したものを入力してください。デフォルトは、「10001」に設定されています。
  - 認証ユーザー名のデフォルトは、「anonymous」です。
  - 接続できないときは、エラーメッセージ (「8.2 メッセージとその対処方法」参照) が表示されます。
  - 本ソフトウェアと光スペクトラムアナライザ本体は、パスワード認証のとき、MD5 アルゴリズム (RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm) を使用した暗号認証を行います。

### 切断

5. メインメニューの **Disconnect** をクリックします。  
下図のような切断確認ウィンドウが表示されます。



6. **YES** ボタンをクリックします。  
Viewer モードになります。



## 5.2 リモートコントロールモードでの操作時の注意

### リモートコントロールモードのときのフロントパネルキーメニュー操作

リモートコントロールモードのときにフロントパネルキーメニューを操作すると、下表の処理が行われます。

フロントパネルキーメニュー	処理
CENTER	ソフトキーに対応するコマンドを送信
SPAN	ソフトキーに対応するコマンドを送信
LEVEL	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
SWEEP	ソフトキーに対応するコマンド送信（リピート掃引はシングル掃引の繰り返し）
ZOOM	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
SETUP	ソフトキーに対応するコマンドを送信
TRACE	ソフトキーに対応するコマンド送信 / 本ソフトウェアで機能を実装
DISPLAY	本ソフトウェアが処理
MARKER	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
PEAK SEARCH	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
ANALYSIS	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
USER	本ソフトウェアが処理
MEMORY	本ソフトウェアが処理
FILE	本ソフトウェアが処理
PROGRAM	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
ADVANCE	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
SYSTEM	ソフトキーに対応するコマンドをコマンド送信 / 本ソフトウェア側で機能を実装
UNDO/LOCAL	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
COPY	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）
PRESET	リセットコマンドを送信
HELP	本ソフトウェアが処理（コマンド送信しない）

### オートオフセット処理について

本ソフトの動作中に、実機側でオートオフセット処理が実行されると、通信シーケンスが乱れてしまい正常動作ができなくなる恐れがあります。

したがって、本ソフトウェアでは光スペクトラムアナライザ本体との接続確立時にオートオフセットを「OFF」に設定し、10分ごとにオートオフセットの実行を命令します。ただし、オートオフセットの実行タイミングが測定実行中だった場合は、光スペクトラムアナライザ本体の場合と同様に掃引が終了した時点で、オートオフセットを実行します。

### リモート接続 / 切断について

リモート接続すると、光スペクトラムアナライザ本体の波形情報、測定条件、および解析パラメータの設定が PC 上に読み込まれます。

リモート切断すると、PC 上の測定条件および解析パラメータの設定が光スペクトラムアナライザ本体に転送され、光スペクトラムアナライザ本体の測定波形はクリアされます。

### 掃引中の波形の読み込みについて

掃引中は、約 1 秒に 1 回光スペクトラムアナライザ本体から測定中の波形を取得し、波形を表示します。

### AQ6360 のフロントパネルキー

AQ6360Viewer のリモートコントロールモードでは、AQ6360 のメインメニューの内容が、パネルキーとして表示されます。

## 5.3 リモートコントロールモードでのソフトキーメニュー

リモートコントロールモードにおける各ソフトキーメニュー項目のうち、次のような制限のあるメニュー項目を表にまとめています。モデルによっては搭載されていない機能もあります。

ソフトキーメニューの詳細については、各光スペクトラムアナライザの取扱説明書をご覧ください。

- 操作ができないメニュー項目
- 操作は可能だが、光スペクトラムアナライザ本体の波形と不一致が生じるメニュー項目
- 実行経過が表示されないメニュー項目
- 光スペクトラムアナライザ本体では実行されないメニュー項目

### 操作ができないメニュー項目

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
MARKER	MARKER LIST PRINT	マーカの値をプリントアウト
ANALYSIS	RESULT PRINT	解析結果のプリントアウト
FILE	REMOVE USB STORAGE	USB ストレージの取り外し
PROGRAM	PROGRAM EXECUTE > EXECUTE	プログラムの実行
	PROGRAM EDIT > EDIT > LIST PRINT	プログラムリストのプリントアウト
	OUTPUT WINDOW	OUTPUT WINDOW の表示
	EXECUTE1 ~ EXECUTE21	ソフトキーに登録したプログラムの実行
ADVANCE	DATA LOGGING	ロギング機能
SYSTEM(MORE 2/4)	REMOTE INTERFACE	通信インタフェースの設定
	GP-IB SETTING	GP-IB インタフェースの設定
	RS-232 SETTING	RS-232 インタフェースの設定
	NETWORK SETTING	イーサネットインタフェースの設定
SYSTEM(MORE 3/4)	SET CLOCK	日付時刻の設定
SYSTEM(MORE 4/4)	REMOVE USB STORAGE	USB ストレージの取り外し
	SHUT DOWN	接続機器のシャットダウン
LEVEL	Main Scale Initialize	メインスケールの縦軸を元に戻す (AQ6360)
	Sub Scale Initialize	サブスケールの縦軸を元に戻す (AQ6360)
FEED	—	紙送り

### 光スペクトラムアナライザ本体の波形と不一致が生じるメニュー項目

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
TRACE (MORE 1/2)	HOLD	アクティブトレースを MAX/MIN ホールドモードに設定
	ROLL AVG	アクティブトレースの掃引を平均モードに設定
DISPLAY	NOISE MASK	ノイズマスクの設定

### 実行経過が表示されないメニュー項目

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
SWEEP	AUTO	オート掃引 (波形が表示されない)
SYSTEM(MORE 1/4)	OPTICAL ALIGNMENT	モノクロメータのアライメント調整
	WL CALIBRATION	波長校正
SYSTEM(MORE 4/4)	RES BW CALIBRATION	実効分解能校正の実行

**光スペクトラムアナライザ本体では実行されないメニュー項目 (PC 上でだけ実行)**

フロントパネルキーメニュー	ソフトキーメニュー	機能
ZOOM	—	ズーム機能
MARKER	—	マーカ機能
PEAK SEARCH	PEAK SEARCH	ピークサーチの実行
	BOTTOM SEARCH	ボトムサーチの実行
	SEARCH MODE	サーチモードの設定
	MULTI SRCH SETTING	マルチサーチ機能の設定
ANALYSIS	—	解析機能
PROGRAM	PROGRAM EDIT	プログラムの編集
ADVANCE	TEMPLATE	GO-NOGO 判定
SYSTEM(MORE 1/4)	GRID EDITOR	グリッドテーブルの編集
	USER KEY DEFINE	ユーザーキーの登録

## 6.1 ファイル転送操作

下記の操作で、光スペクトラムアナライザ本体に保存されたファイルを PC に転送できます。

AQ6370 用 Viewer の画面を例に説明します。

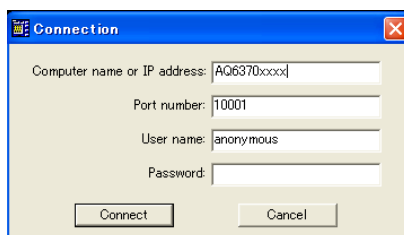
### 操 作

#### 光スペクトラムアナライザの準備

1. 「2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定」に従って、光スペクトラムアナライザ本体をイーサネットに接続します。

#### 接続

2. Windows のスタートメニューから **プログラム > Yokogawa > AQ6370 Viewer (AQ6370B Viewer/AQ6370C Viewer/AQ6370D Viewer/AQ6373 Viewer/AQ6373B Viewer/AQ6374 Viewer/AQ6375&76 Viewer/AQ6360 Viewer/AQ6377 Viewer)** を選択し、本ソフトウェアを起動します。  
デスクトップ上のショートカットアイコンのダブルクリックでも起動できます。
3. メインメニューの **FileTransfer** をクリックします。  
下図のような Connection 画面が表示されます。  
リモートコントロールモードでこの操作をしたときは、Connection 画面は表示されず、File Transfer(ファイル転送)画面が表示されます。このときは、操作 5 に進みます。



4. コンピュータ名(または IP アドレス)、ポート番号、認証ユーザー名および認証パスワードを入力し、**Connect** ボタンをクリックします。
  - ・光スペクトラムアナライザ本体のコンピュータ名は以下のとおりです。  
 AQ6370: "AQ6370@@@@@"  
 AQ6370B: "6370B@@@@@"  
 AQ6370C: "6370C@@@@@"  
 AQ6370D: "6370D@@@@@"  
 AQ6373: "6373@@@@@"  
 AQ6373B: "6373B@@@@@"  
 AQ6374: "6374@@@@@"  
 AQ6375: "AQ6375@@@@@"  
 AQ6375B: "6375B@@@@@"  
 AQ6376: "6376@@@@@"  
 AQ6360: "6360@@@@@"  
 AQ6377: "6377@@@@@"  
 @@@@@@ は計器番号です。計器番号は、光スペクトラムアナライザ本体の背面に 9 桁の英数字で記載されています。  
 コンピュータ名は変更できません。
  - ・光スペクトラムアナライザ本体のポート番号は「2.3 光スペクトラムアナライザ本体のイーサネット接続と設定」にある操作で設定したものを入力してください。デフォルトは、「10001」に設定されています。
  - ・認証ユーザー名のデフォルトは、「anonymous」です。
  - ・接続できないときは、エラーメッセージ(「8.2 メッセージとその対処方法」参照)が表示されます。

- ・ 接続すると、下図のファイル転送画面が表示されます。

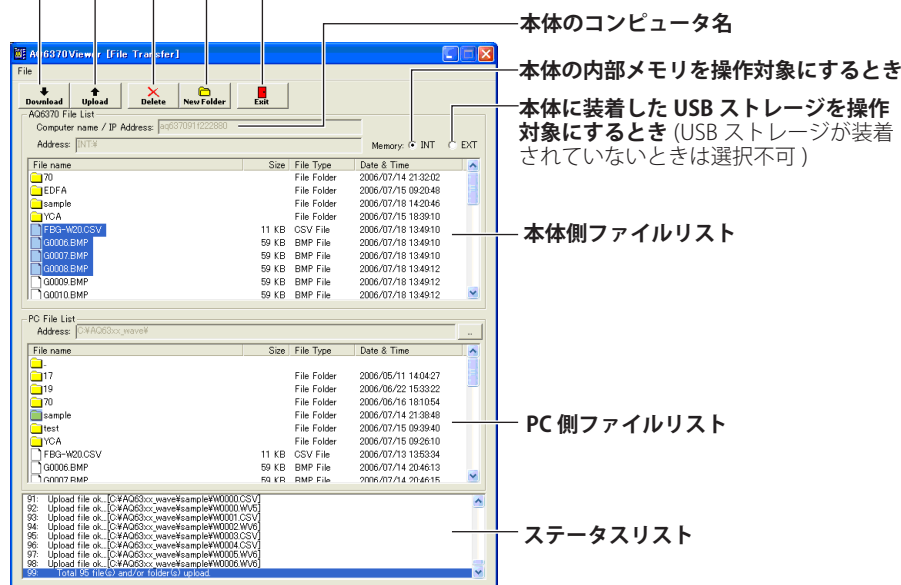
本体→PC のファイル転送を実行するとき (Download ボタン)

PC→本体のファイル転送を実行するとき (Upload ボタン)

ファイル / フォルダを削除するとき (Delete ボタン)

フォルダを作成するとき (New Folder ボタン)

ファイル転送を終了するとき (Exit ボタン)



本体：光スペクトラムアナライザ

### ダウンロード (光スペクトラムアナライザ→PC のファイル転送)

5. PC 側ファイルリストに転送先のフォルダを表示します。
6. 光スペクトラムアナライザ側ファイルリストで転送したいファイルを選択します。
7. Download ボタンをクリックします。  
File メニューで Download を選択することでも可能です。

#### Note

- ・ ファイルサイズが 1MB を超えるファイルは PC に転送できません。
- ・ リストに表示される最大ファイル / フォルダ数は、ファイルとフォルダを合わせて、「4096」です。

### アップロード (PC→光スペクトラムアナライザのファイル転送)

5. 光スペクトラムアナライザ側ファイルリストに転送先のフォルダを表示します。
6. PC 側ファイルリストで転送したいファイルを選択します。
7. Upload ボタンをクリックします。  
File メニューで Upload を選択することでも可能です。

#### Note

- ・ ファイルサイズが 1MB を超えるファイルは光スペクトラムアナライザに転送できません。
- ・ リストに表示される最大ファイル / フォルダ数は、ファイルとフォルダを合わせて、「4096」です。

### ファイル/フォルダの削除

5. 光スペクトラムアナライザ側ファイルリストまたは PC 側ファイルリストで削除したいファイル/フォルダを選択します。
6. **Delete** ボタンをクリックします。  
File メニューで Delete を選択することでも可能です。

#### **Note**

読み込み専用に設定されているファイル/フォルダは削除できません。

### フォルダの作成

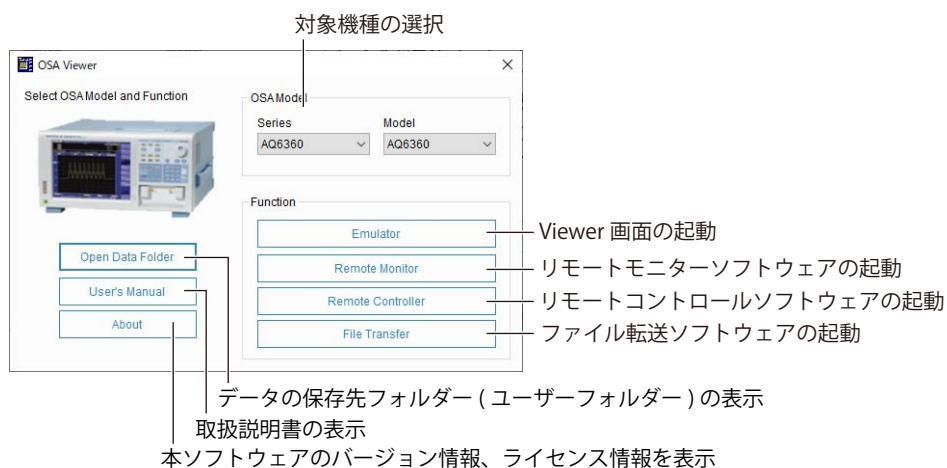
5. フォルダの作成先を光スペクトラムアナライザ側ファイルリストまたは PC 側ファイルリストで選択します。
6. **New Folder** ボタンをクリックします。  
File メニューで New Folder を選択することでも可能です。
7. 表示されたフォルダ名入力画面で作成したいフォルダ名を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

## 7.1 機種共通ソフトウェアの起動

機種共通のソフトウェアを起動して、ナビゲーションウィンドウを表示します。

### 操 作

1. Windows のスタートメニューから **プログラム > Yokogawa > OSA Viewer** を選択し、本ソフトウェアを起動します。  
デスクトップ上のショートカットアイコンのダブルクリックでも起動できます。  
ナビゲーションウィンドウが表示されます。



2. 使用する機能のボタンをクリックします。選択した機能の画面が表示されます。

### 解 説

#### 機能

- **Viewer 画面**  
表示するデータに合わせて、起動する Viewer を選択できます。  
リモートコントロールソフトウェアと同時に起動できます。  
詳細は「7.2 Viewer ソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)」をご覧ください。
- **リモートモニターソフトウェア**  
ネットワークに接続されている光スペクトラムアナライザの表示画面をリモート表示できます。Viewer ソフトウェアと同時に起動できます。詳細は「7.4 リモートモニターソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)」をご覧ください。
- **リモートコントロールソフトウェア**  
ネットワークに接続されている光スペクトラムアナライザをリモート制御できます。Viewer ソフトウェアと同時に起動できます。  
詳細は「7.2 リモートコントロールソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)」をご覧ください。
- **ファイル転送ソフトウェア**  
光スペクトラムアナライザ本体に保存されたファイルを PC に転送できます。  
機種別ソフトウェアと同じ機能です。詳細は「6 章 ファイル転送」をご覧ください。
- **データの保存先フォルダの表示**  
機種別ソフトウェアで設定したユーザーフォルダを開きます。Viewer ソフトウェアなどのデータの保存先確認できます。ユーザーフォルダの設定については、「3.3 ユーザーフォルダの設定」をご覧ください。
- **取扱説明書の表示**  
pdf 形式の取扱説明書を表示します。
- **ソフトウェアのバージョン情報、ライセンス情報の表示**  
本ソフトウェアのバージョン情報、ライセンス情報を表示します。

## 7.2 Viewer ソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)

機種別の Viewer ソフトウェアと同様の機能です。  
4 章と併せてお読みください。

### 操 作

#### 波形データの準備

「4.1 波形データの読み込み / 波形表示操作」に従って、ユーザーフォルダとして設定したフォルダに、読み込みたい波形データファイルを USB ストレージメディアからコピーしておきます。

#### 波形データの読み込み

1. ナビゲーションウィンドウの OSA Model エリア内にある Series メニューおよび Model メニューから表示するデータに合った機種を選択します。

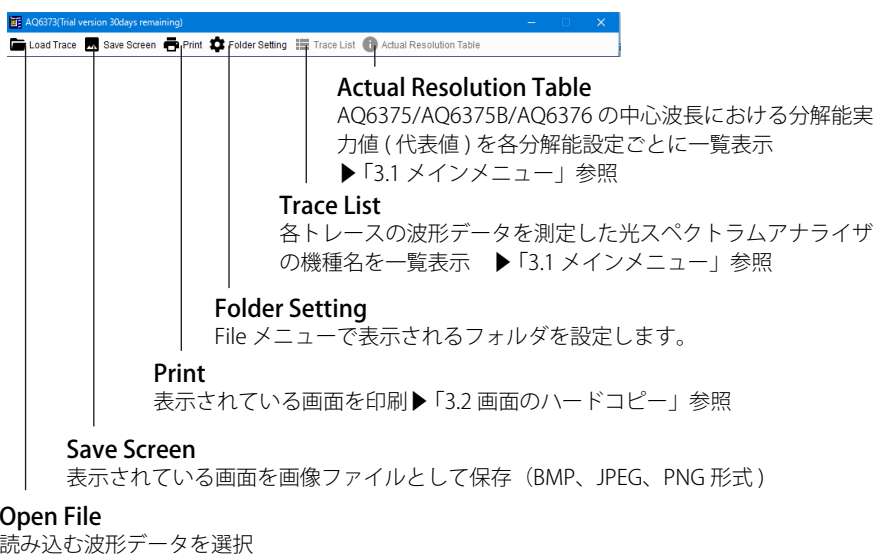
Series	Model
AQ6360	AQ6360
AQ6370	AQ6370C、AQ6370D、AQ6370E
AQ6373	AQ6373、AQ6373B、AQ6373E
AQ6374	AQ6374、AQ6374E
AQ6375	AQ6375、AQ6375B、AQ6375E
AQ6376	AQ6376、AQ6376E
AQ6377	AQ6377
AQ6380	AQ6380

2. **Emulator** ボタンをクリックします。操作 1 で選択した Viewer が起動します。
3. 「4.1 波形データの読み込み / 波形表示操作」に従って、波形データを読み込みます。  
メインメニューの Open File から、波形データを読み込むこともできます。

Viewer ソフトウェアの操作は機種別の Viewer ソフトウェアと同じです。4 章をご覧ください。

### メインメニュー

メインメニューから次の機能进行操作できます。





### Open File

3.3 節で設定したユーザーフォルダが表示されます。  
Viewer ソフトウェアに表示する波形データを選択して、**開く**をクリックします。

### Save Screen

3.3 節で設定したユーザーフォルダが表示されます。  
画像ファイルのファイル名、データ形式を設定し、**保存**をクリックします。

### Print

印刷設定ウィンドウが表示されます。  
出力プリンタ、部数などを設定し、**印刷**をクリックします。

### Folder Setting

Viewer の File メニューで表示されるフォルダを設定します。  
PC 内のストレージ (INT) と PC に接続された外部ストレージ (EXT) を設定できます。

### Trace List(AQ6370C/AQ6370D/AQ6360/AQ6374/AQ6375/AQ6375B/AQ6375E/AQ6376/AQ6376E/AQ6377/AQ6380 用)

各トレースの波形データを測定した、光スペクトラムアナライザの機種名を一覧表示します。

### Actual resolution table(AQ6375/AQ6375B/AQ6376 用)

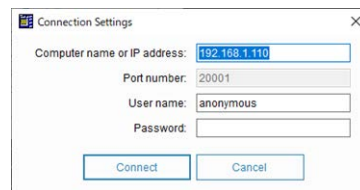
光スペクトラムアナライザの中心波長における分解能実力値 (代表値) を各分解能設定ごとに一覧表示します。

## 7.3 リモートコントロールソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)

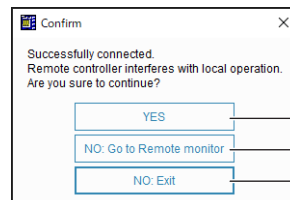
機種別のリモートコントロールソフトウェアと同様の機能です。  
5.2 節および 5.3 節と併せてお読みください。

### 操 作

1. ナビゲーションウィンドウの Remote Control ボタンをクリックします。  
接続設定画面が表示されます。



2. コンピュータ名または IP アドレス、認証ユーザー名、パスワードを入力し、**Connect** ボタンをクリックします。  
リモートコントロール接続の確認画面が表示されます。



- リモートコントロール画面を表示します。
- リモートモニター画面を表示します。
- ナビゲーションウィンドウに戻ります。

ポート番号は 20001 固定です。

- ・ 光スペクトラムアナライザ本体のコンピュータ名は以下のとおりです。

AQ6370C: "6370C@@@@@"

AQ6370D: "6370D@@@@@"

AQ6370E: "6370E@@@@@"

AQ6373: "6373@@@@@"

AQ6373B: "6373B@@@@@"

AQ6373E: "6373E@@@@@"

AQ6374: "6374@@@@@"

AQ6374E: "6374E@@@@@"

AQ6375: "AQ6375@@@@@"

AQ6375B: "6375B@@@@@"

AQ6375E: "6375E@@@@@"

AQ6376: "6376@@@@@"

AQ6376E: "6376E@@@@@"

AQ6360: "6360@@@@@"

AQ6377: "6377@@@@@"

AQ6380: "6380@@@@@"

@@@@@ は計器番号です。

計器番号は、光スペクトラムアナライザ本体の背面に 9 桁の英数字で記載されています。

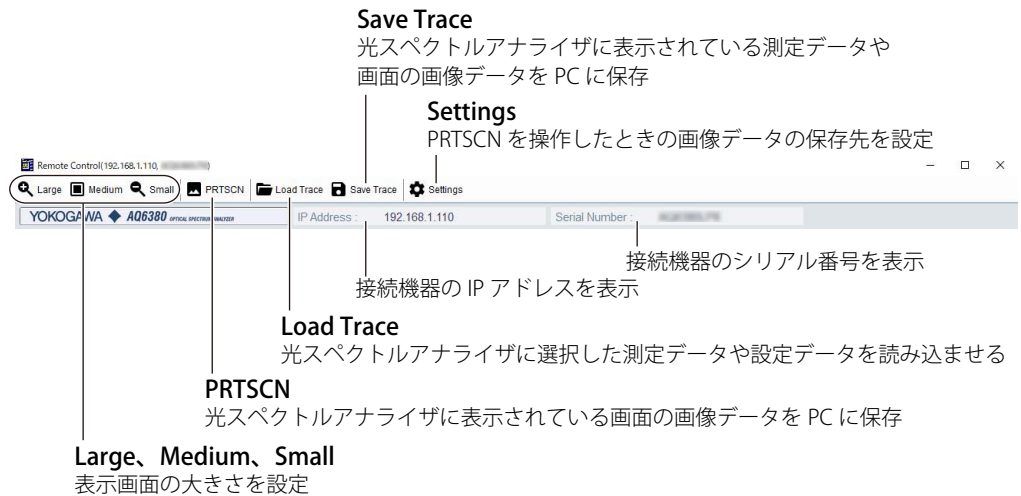
コンピュータ名は変更できません。

- ・ 認証ユーザー名のデフォルトは、「anonymous」です。
- ・ 接続できないときは、エラーメッセージ (「8.2 メッセージとその対処方法」参照) が表示されます。
- ・ 本ソフトウェアと光スペクトラムアナライザ本体は、パスワード認証のとき、MD5 アルゴリズム (RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm) を使用した暗号認証を行います。

3. **Yes** ボタンをクリックします。リモートコントロール画面が表示されます。  
誤操作防止のための確認画面です。リモートモニター画面の操作は 7.4 節をご覧ください。

## メインメニュー

メインメニューから次の機能を操作できます。



### Save Trace

3.3 節で設定したユーザーフォルダが表示されます。

ファイル名、保存するデータを設定し、**保存**をクリックします。

画像データを保存する場合は、リモートコントロールでデータ形式を BMP 形式、または TIFF 形式のどちらかを選択できます。

また、カラーも Black & White、Color、Preset Color から選択できます。

### Load Trace

3.3 節で設定したユーザーフォルダが表示されます。

接続機器に読み込ませるデータを選択し、**開く**をクリックします。

### Large/Medium/Small

リモートコントロールソフトウェアの画面の大きさを設定します。

Large : Medium の 150% の大きさで表示

Small : Medium の 50% の大きさで表示

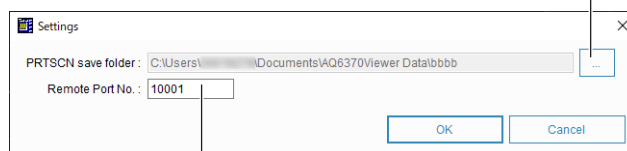
### PRTSCN

光スペクトラムアナライザに表示されている画面の画像データを Settings で設定した PC のフォルダー内に保存します。

### Settings

PRTSCN を操作したときの画像データの保存先を設定します。

#### 保存先の PC のフォルダーを選択



6.1 節のファイル転送で使用するポート番号を入力

## 解 説

機能は、機種別のリモートコントロールソフトウェアと同じです。

Viewer ソフトウェアを同時に表示することもできます。

リモートコントロールで波形データを保存し、Viewer で確認することもできます。

## Save Trace

保存できるデータは、下記のデータです。

- Trace(\*.WXA、\*.WXC、\*.WXD、\*.WXE、\*.WXG、\*.WX7 ～ \*.WX9)：接続機器で測定した波形データ
- Trace(\*.CSV)：接続機器で測定した測定データ (CSV 形式)
- All Trace(\*.CSV、\*.WAA、\*.WAC、\*.WAD、\*.WAE、\*.WAG)：接続機器で測定したすべてのトレース測定データ (CSV 形式)
- Image：接続機器の波形画面の画像データ (\*.BMP、\*.TIFF、\*.PNG、\*.JPG)

## Load Trace

読み込ませるデータは、下記のデータです。

- Trace(\*.WXA、\*.WXC、\*.WXD、\*.WXE、\*.WXG、\*.WX7 ～ \*.WX9)：接続機器と同機種で測定した波形データ
- Trace(\*.CSV)：接続機器で測定した測定データ (CSV 形式)
- Setting file(\*.STA、\*.STB、\*.STC、\*.STD、\*.STE、\*.STG、\*.ST7 ～ \*.ST9)

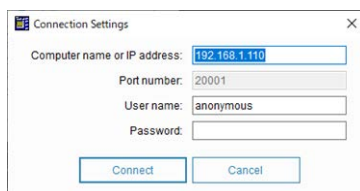
接続している機種によって、読み込めるデータの拡張子が異なります。

機種	波形データ	CSV	設定データ
AQ6360	*.WVA	*.CSV	*.STA
AQ6370C/AQ6370D	*.WV8	*.CSV	*.ST8
AQ6373/AQ6373B/AQ6374	*.WV9	*.CSV	*.ST9
AQ6375/AQ6375B/AQ6376/AQ6377	*.WV7	*.CSV	*.ST7
AQ6380	*.WXA、*.WAA	*.CSV	*.STB
AQ6375E/AQ6376E	*.WXC、*.WAC	*.CSV	*.STC
AQ6370E	*.WXD、*.WAD	*.CSV	*.STD
AQ6373E	*.WXE、*.WAE	*.CSV	*.STE
AQ6374E	*.WXG、*.WAG	*.CSV	*.STG

## 7.4 リモートモニターソフトウェアでの操作 (機種共通ソフトウェア)

### 操 作

1. ナビゲーションウィンドウの Remote Monitor ボタンをクリックします。  
接続設定画面が表示されます。



2. コンピュータ名または IP アドレス、認証ユーザー名、パスワードを入力し、**Connect** ボタンをクリックします。

リモートモニター画面が表示されます。

ポート番号は 20001 固定です。

- ・ 光スペクトラムアナライザ本体のコンピュータ名は以下のとおりです。

AQ6370C: "6370C@@@@@@@@"

AQ6370D: "6370D@@@@@@@@"

AQ6370E: "6370E@@@@@@@@"

AQ6373: "6373@@@@@@@@"

AQ6373B: "6373B@@@@@@@@"

AQ6373E: "6373E@@@@@@@@"

AQ6374: "6374@@@@@@@@"

AQ6374E: "6374E@@@@@@@@"

AQ6375: "AQ6375@@@@@@@@"

AQ6375B: "6375B@@@@@@@@"

AQ6375E: "6375E@@@@@@@@"

AQ6376: "6376@@@@@@@@"

AQ6376E: "6376E@@@@@@@@"

AQ6360: "6360@@@@@@@@"

AQ6377: "6377@@@@@@@@"

AQ6380: "6380@@@@@@@@"

@@@@@@@@ は計器番号です。

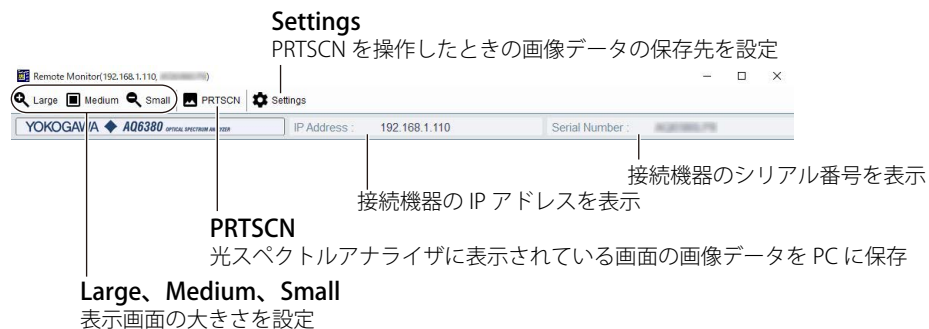
計器番号は、光スペクトラムアナライザ本体の背面に 9 桁の英数字で記載されています。

コンピュータ名は変更できません。

- ・ 認証ユーザー名のデフォルトは、「anonymous」です。
- ・ 接続できないときは、エラーメッセージ (「8.2 メッセージとその対処方法」参照) が表示されます。
- ・ 本ソフトウェアと光スペクトラムアナライザ本体は、パスワード認証のとき、MD5 アルゴリズム (RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm) を使用した暗号認証を行います。

### メインメニュー

メインメニューから次の機能进行操作できます。



### Large/Medium/Small

リモートコントロールソフトウェアの画面の大きさを設定します。

Large : Medium の 150% の大きさで表示

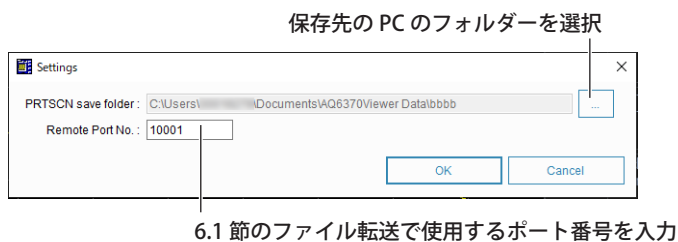
Small : Medium の 50% の大きさで表示

### PRTSCN

光スペクトラムアナライザに表示されている画面の画像データを Settings で設定した PC のフォルダー内に保存します。

### Settings

PRTSCN を操作したときの画像データの保存先を設定します。



## 8.1 故障？ちょっと調べてみてください

サービスが必要なとき、または下記の対処を行っても正常に動作しないときは、お買い求め先まで修理をお申し付けください。

内容	考えられる原因 / 対処方法	参照項
光スペクトラムアナライザ本体に接続できない (エラーメッセージ: Connection Error)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connection ウィンドウで入力したコンピュータ名または IP アドレスが光スペクトラムアナライザ本体に設定したものと合っているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体と PC の両方とも LAN ケーブルでネットワークに正しく接続されているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
光スペクトラムアナライザ本体に接続できない (エラーメッセージ: User account data mismatch.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connection ウィンドウで入力したコンピュータ名または IP アドレスが光スペクトラムアナライザ本体に設定したものと合っているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体が AUTO OFFSET 動作中は接続できません。AUTO OFFSET 中であった場合は、AUTO OFFSET 処理が終わってから接続してください。</li> </ul>	2.3 5.2
AQ6370 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6370 Remote interface setting or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6370 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>AQ6370 本体のファームウェアバージョンが「R02.01」以上かどうか確認してください。SYSTEM キーの VERSION ソフトキーで確認できます。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6370B 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6370B Remote interface setting or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6370B 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6370C 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6370C Remote interface setting" or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6370C 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6370D 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6370D Remote interface setting" or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6370D 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6373 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6373 Remote interface setting or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6373 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6373B 本体に接続できない (エラーメッセージ: AQ6373B Remote interface setting or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6373B 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
AQ6370E、AQ6373E、AQ6374、AQ6374E、AQ6375、AQ6375B、AQ6375E、AQ6376、AQ6376E、AQ6377、AQ6380 本体に接続できない (エラーメッセージ: OSA Remote interface setting or Firmware Version Error.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQ6370E、AQ6373E、AQ6374、AQ6374E、AQ6375、AQ6375B、AQ6375E、AQ6376、AQ6376E、AQ6377、AQ6380 本体のリモートインターフェース設定が「ETHERNET」になっているかどうか確認してください。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインターフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	2.3
起動時にライセンス確認画面が表示される	ライセンス認証を実行してください。ライセンス認証に必要なライセンスコードは、付属の CD ケースに記載されています。	2.1

## 8.1 故障？ちょっと調べてみてください

内容	考えられる原因 / 対処方法	参照項
本ソフトウェアでの解析結果が光スペクトラムアナライザ本体での解析結果と一致しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>About メニューの選択で表示されるバージョン「Rxx.xx」(xx は数値) が、本ソフトウェアの解析結果に対応している光スペクトラムアナライザのファームウェアバージョンです。このファームウェアバージョンと光スペクトラムアナライザ本体のファームウェアバージョンが一致しているかどうか確認してください。</li> <li>波形データを測定した光スペクトラムアナライザに対応した Viewer を使って解析したかを確認してください。測定した光スペクトラムアナライザに対応していない Viewer を使って解析した場合、次の解析結果は保証されません。(AQ6317 または AQ6319 の波形データの場合を含む) POWER 解析、LED 解析、WDM 解析、OSNR (WDM) 解析、EDFA-NF 解析、dBm/nm モード、dBm/THz モード</li> </ul>	3.1 —
リモートコントロールモードで測定し PC 画面に表示した波形と光スペクトラムアナライザ本体で表示される波形が一致しない	NOISE MASK 機能使用時や以下のトレース設定では、波形が一致しません。 ROLL AVG/MAX HOLD/MIN HOLD/CALC <ul style="list-style-type: none"> <li>光スペクトラムアナライザ本体のリモートインタフェース設定を、一度「GP-IB」に変更後、再度、「ETHERNET」に設定してください。</li> </ul>	—
ファイル転送モードで大きなサイズのファイルを転送できない	ファイル転送モードで転送可能な 1 ファイルあたりの最大ファイルサイズは 1MB です。	—



## 8.2 メッセージとその対処方法

### エラーメッセージ

本ソフトウェアを操作中に表示されるエラーメッセージは以下です。

エラーメッセージ	内容
Connection Error.	下記のどれかの理由で、光スペクトラムアナライザ本体との通信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>光スペクトラムアナライザ本体との接続エラーが発生した（すでに光スペクトラムアナライザ本体が他のソフトウェアで接続されているときも接続エラー）</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体にデータを送信する際にエラーが発生した</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体からデータを受信する際にタイムアウトになった</li> <li>接続しようとした AQ6380 本体がアプリケーション機能を実行中だった</li> </ul>
Connection Error. AQ6370 Remote interface setting or Firmware Version Error.	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しようとした AQ6370 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。</li> <li>接続しようとした AQ6370 本体のファームウェアバージョンが本ソフトウェアに対応していません。AQ6370 本体のファームウェアバージョンは、「R02.01」以上である必要があります。</li> </ul>
Connection Error. AQ6370B Remote interface setting or Firmware Version Error.	接続しようとした AQ6370B 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。
Connection Error. AQ6370C Remote interface setting or Firmware Version Error.	接続しようとした AQ6370C 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。
Connection Error. AQ6370D Remote interface setting or Firmware Version Error.	接続しようとした AQ6370D 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。
Connection Error. AQ6373 Remote interface setting or Firmware Version Error.	接続しようとした AQ6373 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。
Connection Error. AQ6373B Remote interface setting or Firmware Version Error.	接続しようとした AQ6373B 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。
Connection Error. OSA Remote interface setting or Firmware Version Error.	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しようとした AQ6370E/AQ6373E/AQ6374/AQ6374E/AQ6375/AQ6375B/AQ6375E/AQ6376/AQ6376E/AQ6377/AQ6380 本体のリモートインタフェース設定が「ETHERNET」になっていません。</li> <li>接続しようとした AQ6380 本体のファームウェアバージョンが本ソフトウェアに対応していません。AQ6380 本体のファームウェアバージョンは、「R01.02」以上である必要があります。</li> </ul>
Connection Failed. User account data mismatch.	<ul style="list-style-type: none"> <li>光スペクトラムアナライザ本体との接続で使用するアカウント情報が光スペクトラムアナライザ本体で設定されているものと一致しません。</li> <li>光スペクトラムアナライザ本体との接続を実行したときに、光スペクトラムアナライザ本体が AUTO OFFSET 動作の最中だったため、応答できませんでした。</li> </ul>

### リモートコントロール時のワーニングメッセージ

リモートコントロール時では光スペクトラムアナライザからエラー情報を取得するため、光スペクトラムアナライザでエラーが検出されたときは、本ソフトウェアでもそのエラーのワーニングメッセージが表示されます。本ソフトウェアの操作中に表示されるワーニングメッセージの原因と対処方法については、光スペクトラムアナライザのユーザーズマニュアルの「10.10 ワーニング表示機能」をご覧ください。

# 索引

## A ページ

About.....	3-3
Actual resolution table .....	3-3, 7-3
AUT ANA.....	1-11
AUT CTR .....	1-11
AUT OFS .....	1-11
AUT REF .....	1-11
AUT SCL.....	1-11
AUT SRC .....	1-11

## C ページ

Connect.....	3-1, 5-1
COR SIZ.....	1-11

## D ページ

Delete.....	6-3
Disconnect .....	3-1, 5-2
Display メニュー .....	3-3
DONE.....	4-6
Download .....	6-2

## E ページ

EXECUTE .....	4-3, 4-7
Exit.....	2-2, 3-1

## F ページ

File.....	3-1
FILE.....	4-2, 4-4
FILE NAME.....	4-5
FileTransfer .....	3-2, 6-1
Folder Setting .....	7-3

## I ページ

ITEM SELECT .....	4-4
-------------------	-----

## L ページ

Large.....	7-5, 7-8
Load Trace .....	7-5
LVL SHF.....	1-11

## M ページ

Medium.....	7-5, 7-8
-------------	----------

## N ページ

New Folder.....	6-3
NOI MSK.....	1-11

## O ページ

Open File.....	7-3
----------------	-----

## P ページ

Print.....	3-1, 3-4, 7-3
------------	---------------

## R ページ

READ .....	4-2
REMOTE PORT NO. ....	2-9
REMOTE PORT NO. の設定 .....	2-9

RES COR.....	1-11
RPT .....	1-11

## S ページ

Save Screen.....	7-3
Save Trace.....	7-5
Setting.....	3-2
SETTING.....	4-5
SGL.....	1-11
Small .....	7-5, 7-8
SMO OTH.....	1-11
SPT.....	1-11
SRC 1-2.....	1-11
SRC ZOM.....	1-11
SWP 1-2 .....	1-11
SWP INT .....	1-11

## T ページ

TCP/IP .....	2-8
TCP/IP の設定.....	2-9
TLS SYNC.....	1-11
Trace List.....	3-3, 7-3

## U ページ

Upload .....	6-2
User Folder Setting .....	3-5

## V ページ

VAC WL.....	1-11
Viewer モード .....	1-1, 4-8

## W ページ

WF SHF .....	1-11
WRITE.....	4-5

## ア ページ

アップデート .....	1-8
アップロード .....	6-2

## イ ページ

イーサネット接続 .....	2-7
イーサネットの設定 .....	2-7
インストール .....	V

## エ ページ

エラーメッセージ .....	8-3
----------------	-----

## オ ページ

オートオフセット処理 .....	5-3
------------------	-----

## カ ページ

画面のハードコピー .....	3-4
-----------------	-----

## キ ページ

キーボード .....	2-5
起動.....	2-1

## 索引

---

コ	ページ
コンピュータ名 .....	2-9, 5-2, 6-1
梱包内容 .....	iii
シ	ページ
システム環境 .....	iv
ス	ページ
ステータスバー .....	1-12
セ	ページ
接続.....	5-1, 6-1
切断.....	5-2
設定データの保存操作 .....	4-4
ソ	ページ
掃引中の波形の読み込み .....	5-3
ソフトキーメニュー .....	4-8
ソフトキーメニューの形状と働き .....	2-6
タ	ページ
ダウンロード .....	6-2
ツ	ページ
通信インタフェース .....	2-7
ト	ページ
動作モード .....	1-1
動作モードによる機能の違い .....	1-5
ハ	ページ
バージョンを確認する .....	3-3
波形データの読み込み .....	4-1
パラメータ値 .....	2-4
フ	ページ
ファイル転送 .....	7-1
ファイル転送モード .....	1-3
フォルダの作成 .....	6-3
プログラム機能で動作しないコマンド .....	4-9
フロントパネルキーメニュー .....	1-12, 2-3
ユ	ページ
ユーザーアカウント .....	2-8
ヨ	ページ
読み込み可能ファイル .....	1-6
リ	ページ
リモートコントロールモード .....	1-2
リモートコントロールモードのときのフロントパネルキーメ ニュー操作.....	5-3
リモート接続 / 切断.....	5-3
リモートポート番号 .....	2-8
ワ	ページ
ワーニングメッセージ .....	8-3